

# 稲沢市立保育園再編計画(個別施設計画)

〈〈案〉〉

令和3年 月  
稲 沢 市



# 目次

第1章	あり方検討委員会での検討	1
I	全体の検討の流れ	3
II	検討の目的と稲沢市の保育に関する基本的考え方	4
	1. 検討の目的	
	2. 稲沢市の保育に関する基本的考え方	
III	保育園の概況	7
IV	保育園の状況からみた今後のあり方に関する検討事項	9
	1. 保育園の現在の利用状況からの視点	
	2. 将来の保育需要の見通しからの視点	
	3. 保育園の老朽度や土地所有状況からの視点	
	4. これまでの市の基本方針からの視点	
	5. 集団保育に関する視点	
	<総括>	
第2章	稲沢市立保育園再編計画（個別施設計画）	43
I	今後の保育園の集約化についての考え方	45
	1. 集約化についての方針	
	2. 集約化に伴う保育園の需給バランスの見通し	
II	保育園の今後の整備に向けて	48
	1. 各保育園の老朽化状況	
	2. 各保育園の今後の整備の考え方	
	3. 整備に向けたロードマップ	
	4. 民営化に向けての考え方	

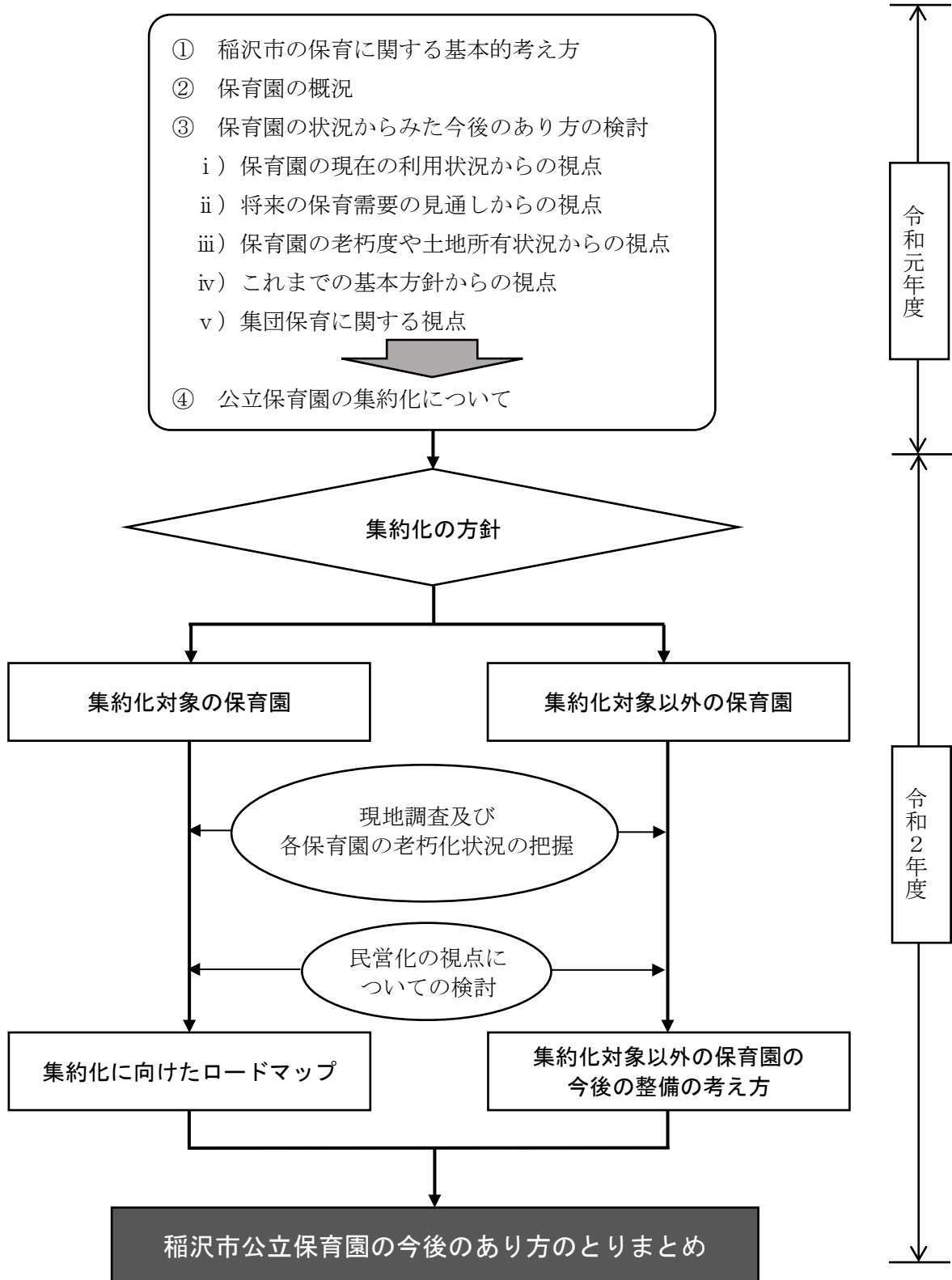


# 第1章 あり方検討委員会での検討



# I 全体の検討の流れ

令和元年度及び令和2年度の2か年にわたり検討を行いました。  
2か年の大きな検討の流れは、以下に示すものです。



## 1. 検討の目的

本市は、県及び市町村が認可を行う保育施設として、公立 18 施設、私立 17 施設（認定こども園 2 施設、小規模保育事業所 3 施設を含む）を擁しており、これらの保育施設を中心に就学前児童の保育需要に対応しています。

整備費用、人件費などを含めた運営費用は、私立施設では費用に対する国費、県費での負担がありますが、公立施設では平成 16 年度から運営費が、平成 17 年度から施設整備費が一般財源化されています。

また、「これからの公共施設のあり方に関する報告書」（平成 25 年 3 月）においては、今後の公立保育園の見直しの考え方として“保育ニーズを勘案しながら、統廃合を検討するとともに、民営化も選択肢として柔軟に対応する”こととされ、**見直し後の公立保育園は 10 園、定員数は 2,605 人から 1,595 人に削減することを提案しています。**

こうした中、近年の少子化の進行や女性の就業率向上を背景とする保育ニーズの高まり、さらには、令和元年 10 月から施行された幼児教育・保育の無償化を含め、保育を取り巻く需要動向・環境は大きく変わりつつあります。

本検討は、令和元年度に策定した「第 2 期稲沢市子ども・子育て支援事業計画」における今後の保育需要の見込み等を踏まえつつ、今後の公立保育園のあり方について検討するものです。



## 2. 稲沢市の保育に関する基本的考え方

本市では、改定された保育所保育指針に基づき、乳幼児期の愛着形成や幼児教育における人格形成の重要性を踏まえ、発達に応じたきめ細やかな質の高い保育が提供できるよう努力しています。また、保育園での遊びや生活が小学校以降にも続く3つの柱「知識・技能の基礎」、「思考力・判断力・表現力等の基礎」、「学びに向かう力・人間性」の基盤づくりを担っていることを意識して、子ども主体の保育を目指して保育内容の見直し、充実に取り組んでいます。

乳児期に大切な事は、安心感と信頼感、自信です。この後ずっと生きていく世界に安心感を持つことが出来るのか、自分を取り巻いている身近にいる大人に信頼感を持てるのか、自分に自信が持てるのか、この3つを乳児期に育てていきたいと考えています。そのために、まずは特定の大人との応答的關係により愛着關係が形成できる体制が重要だと考え、特に食事や排泄場面で、特定の子に対して特定の大人が関わる緩やかな育児担当制が取れる職員配置と職員同士の業務協力体制の強化に努めています。また、子どもは1日の生活の流れが安定してくると、先を見通して自分で考えて行動することができるので、自ら遊ぼうとし、遊ぶことで学びが生まれ、発達が進み、情緒的な基盤が安定します。このように乳児期にきめ細やかで丁寧な保育をすることが、その後の子どもの成長発達に大きな影響を与えることは言うまでもありません。

幼児期においては、近年、子どもを取り巻く環境の変化に伴い、隣近所の子どもたちが群れて夢中になって遊ぶなどの同年齢集団や異年齢集団が地域の中で形成されにくい現状があり、集団との関わりの中で、「協同性の芽生え」を育むことが喫緊の課題です。その時の遊びの様子によって変化する幼児集団の力動關係によって多様に相手を選ぶことができたり、思いを主張しあうことができたりという、その所属集団内での自然な関わりができる状況を作るには、ある程度の人数が所属する集団である必要があります。

一方、支援が必要な幼児への対応や、一人ひとりの子どもの心の内面や育ちを把握するため十分な目を届かせたいと考える「個に応じた援助」も必要となります。

両者は、二律背反的な傾向にあるもののどちらも欠かせません。両者が調和よくなされる学級の規模を考えた上で集団を作る必要があります。

一般的に、3歳で入園して次第に園生活に慣れ、基本的な生活習慣を身に付け始めると、周囲の人への関心を持つようになります。そして次第に人と生活することを意識し、見る、気付く、真似る等の行動が始まり、経年とともに誘い合う、互いを必要とする、共に行動する、力を合わせる等、幼児自身の人と関わり合う姿が顕著になっていく中で、協同性の育ちが進んでいくとされています。年齢があがっていくにつれ、保育士の直接的介入が減って見守りが中心となり、子ども同士で学び合える環境としての集団が必要となってきます。

このような発達を踏まえて、3歳児は生活習慣を個々に身に付けることを最優先し、また、4・5歳児は友達關係が徐々に広がり、集団を形成して生活ができるようになっていくといった発達の過程から、3歳児は16人以上、4・5歳児は21人以上が望ましいと考えています。

※【参考】 望ましい集団の規模

文部科学省 集団の規模と担任の指導に関する意識調査から抜粋

調査対象：国公立幼稚園あわせて5, 108名（園長：929名、担任：4, 179名）

3歳児 16－20人

4歳児 21－25人

5歳児 21－25人

### Ⅲ

## 保育園の概況

### 【分布状況】

- 稲沢市には、公立保育園 18 園、私立保育園等 17 園、併せて 35 園があります。私立保育園等のうち 2 か所は認定こども園（①、⑤）、3 か所は小規模保育事業所（⑮～⑰）となっています。
- 公立保育園は比較的全市に分散されていますが、私立保育園は市の東側に偏りがみられます。
- 稲沢市は教育・保育の提供区域を「東」と「西」の 2 つの地域に区分しており、「東」は稲沢・小正・下津・大里西・大里東市民センター地区の 5 地区、「西」は祖父江・平和支所、明治・千代田市民センター地区の 4 地区の合計 9 地区で構成されています。保育園が無い地区は一つもありませんが、公立保育園が無いのは千代田地区の 1 地区となっています。

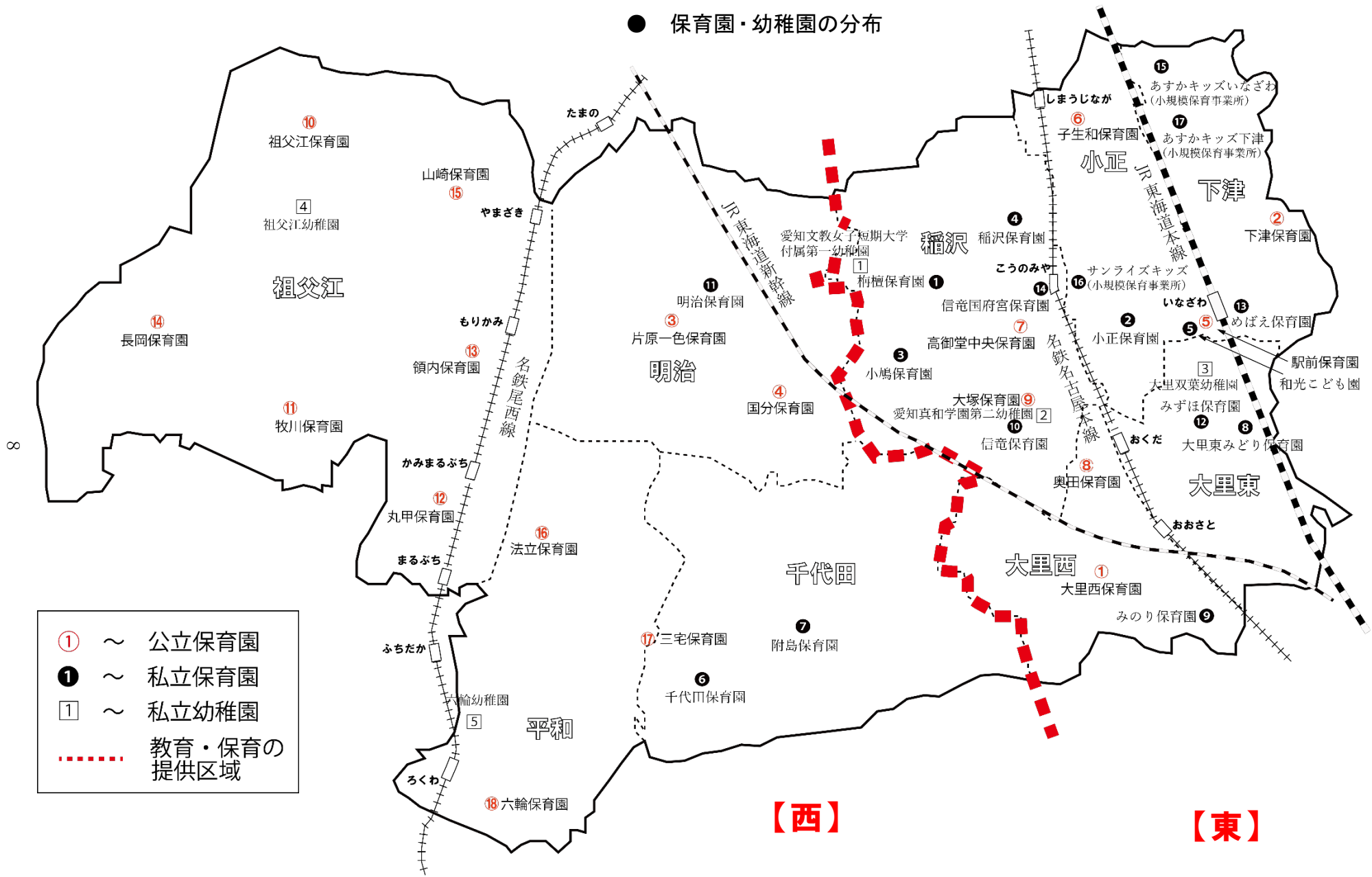
### 【施設諸元】

- 耐震化の新基準になった昭和 56 年を境にみると、昭和 56 年以前に整備されたものが公立保育園 18 園中 11 園あります。
- それ以外の 7 園は新耐震基準施行後のものであり、耐震化はクリアしています。
- 定員については、100 人前後の施設が多くなっていますが、少ない施設は 70 人規模で 3 園（⑭長岡保育園、⑮山崎保育園、⑰三宅保育園）、定員が最も多い施設は 200 人（⑬領内保育園）の施設があります。

### 【利用状況】

- 公立保育園の定員は令和 2 年 4 月 1 日現在で 2,140 人、利用者数は 1,501 人、入所率は 70.1%となっています。
- 私立保育園の定員は 2,080 人、利用者数は 1,942 人、入所率は 93.4%となっています。
- 市全体としては、定員は 4,220 人、利用者数は 3,443 人、入所率は 81.6%となっています。

● 保育園・幼稚園の分布



- ① ~ 公立保育園
- ① ~ 私立保育園
- ① ~ 私立幼稚園
- 教育・保育の提供区域

【西】

【東】

# IV

## 保育園の状況から見た今後のあり方に関する検討事項

### 1. 保育園の現在の利用状況からの視点

稲沢市の保育園の利用状況は以下のとおりです。

#### (ア) 全体の推移

- ・ 公立保育園全体と私立保育園全体の利用状況、及び両者を合算した、市全体としての保育園の利用状況を示しているものです。

#### (イ) 公立保育園の推移

- ・ 公立の保育園別に利用状況を示しているものです。

#### (ウ) 私立保育園の推移

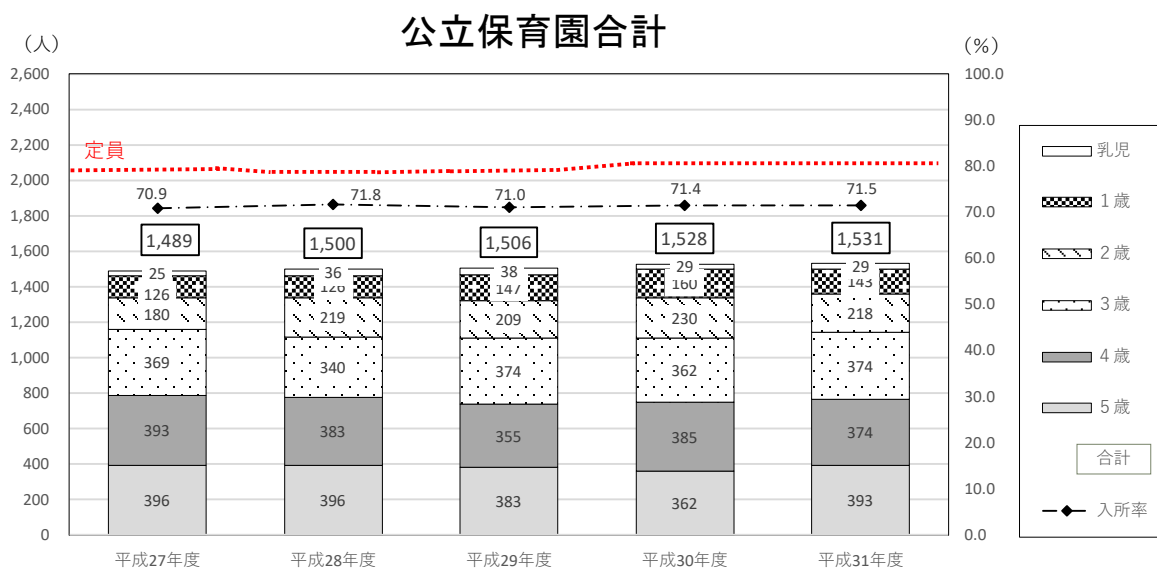
- ・ 私立の保育園別に利用状況を示しているものです。

### (ア) 全体の推移

#### ①公立保育園

(人、%)

公立保育園合計	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	2,100	1,489	396	393	369	180	126	25	70.9
平成28年度	2,090	1,500	396	383	340	219	126	36	71.8
平成29年度	2,120	1,506	383	355	374	209	147	38	71.0
平成30年度	2,140	1,528	362	385	362	230	160	29	71.4
平成31年度	2,140	1,531	393	374	374	218	143	29	71.5

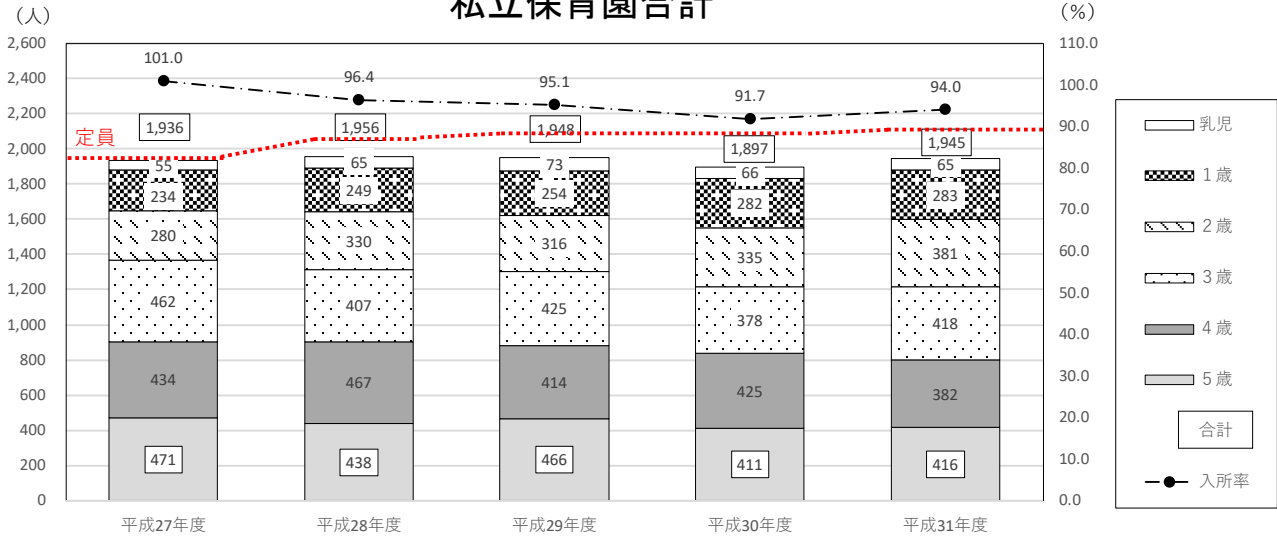


②私立保育園 ※こども園、小規模保育事業所を含む

(人、%)

私立保育園合計	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	1,917	1,936	471	434	462	280	234	55	101.0
平成28年度	2,030	1,956	438	467	407	330	249	65	96.4
平成29年度	2,049	1,948	466	414	425	316	254	73	95.1
平成30年度	2,068	1,897	411	425	378	335	282	66	91.7
平成31年度	2,070	1,945	416	382	418	381	283	65	94.0

私立保育園合計

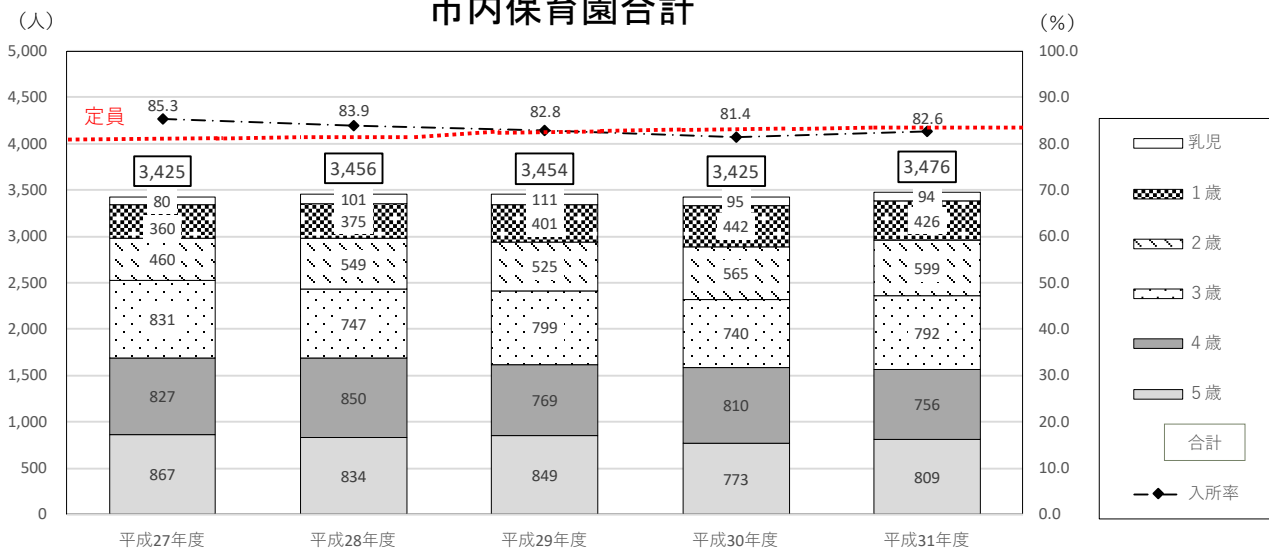


③市内施設合計

(人、%)

市内保育園合計	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	4,017	3,425	867	827	831	460	360	80	85.3
平成28年度	4,120	3,456	834	850	747	549	375	101	83.9
平成29年度	4,169	3,454	849	769	799	525	401	111	82.8
平成30年度	4,208	3,425	773	810	740	565	442	95	81.4
平成31年度	4,210	3,476	809	756	792	599	426	94	82.6

市内保育園合計

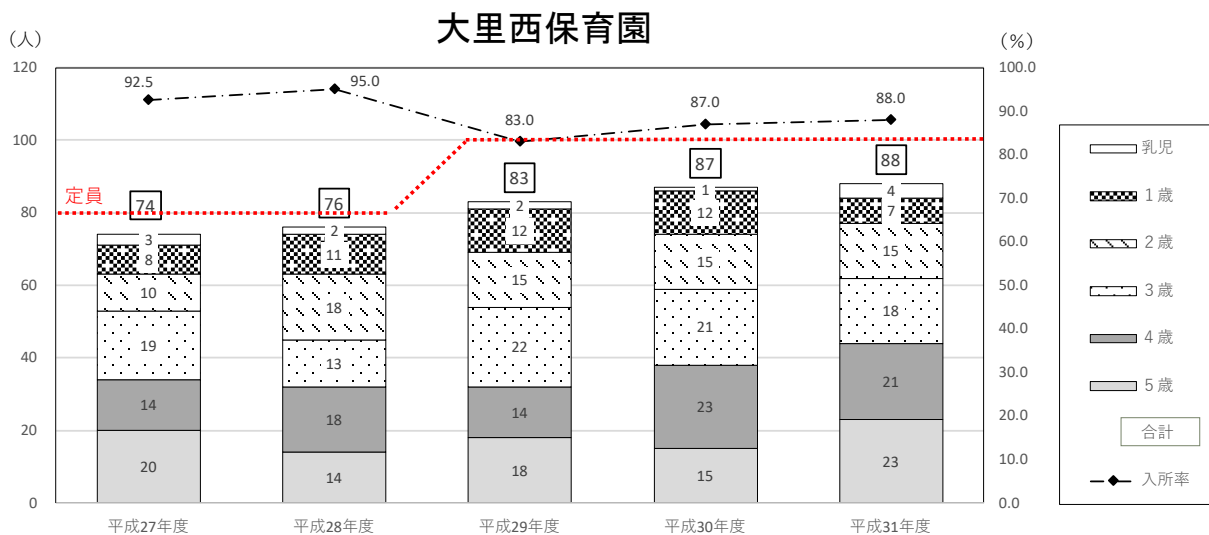


## (イ) 公立保育園の推移

### ①大里西保育園

(人、%)

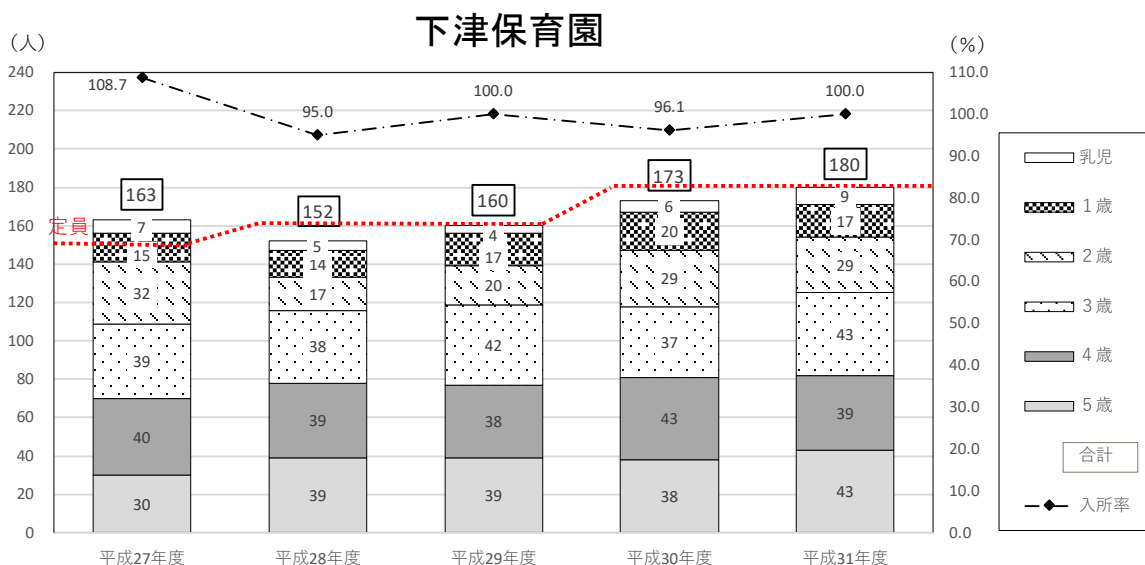
大里西保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	80	74	20	14	19	10	8	3	92.5
平成28年度	80	76	14	18	13	18	11	2	95.0
平成29年度	100	83	18	14	22	15	12	2	83.0
平成30年度	100	87	15	23	21	15	12	1	87.0
平成31年度	100	88	23	21	18	15	7	4	88.0



### ②下津保育園

(人、%)

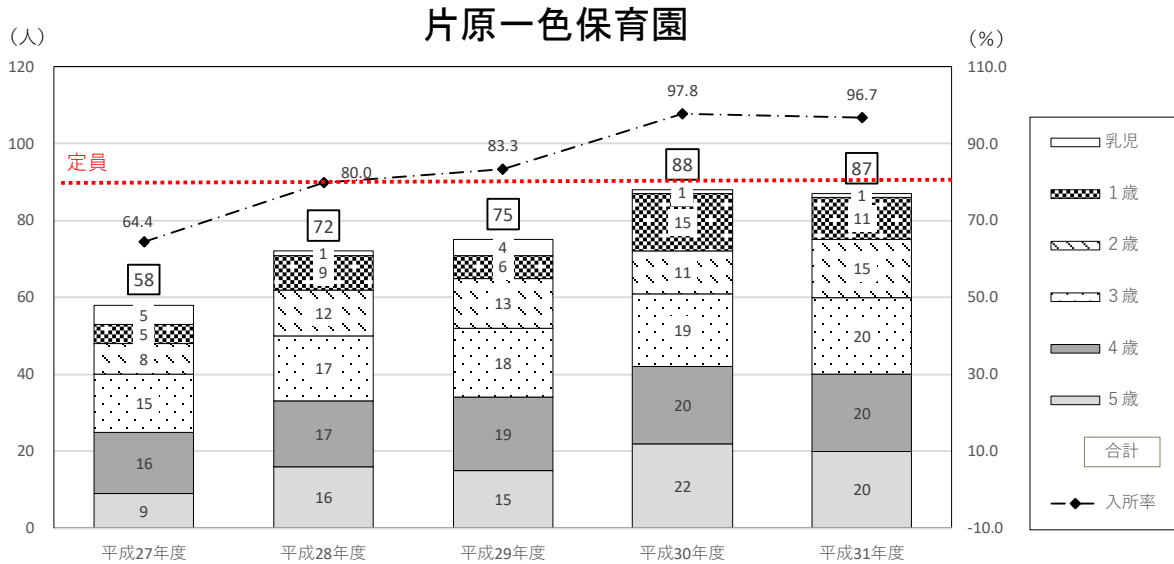
下津保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	150	163	30	40	39	32	15	7	108.7
平成28年度	160	152	39	39	38	17	14	5	95.0
平成29年度	160	160	39	38	42	20	17	4	100.0
平成30年度	180	173	38	43	37	29	20	6	96.1
平成31年度	180	180	43	39	43	29	17	9	100.0



### ③片原一色保育園

(人、%)

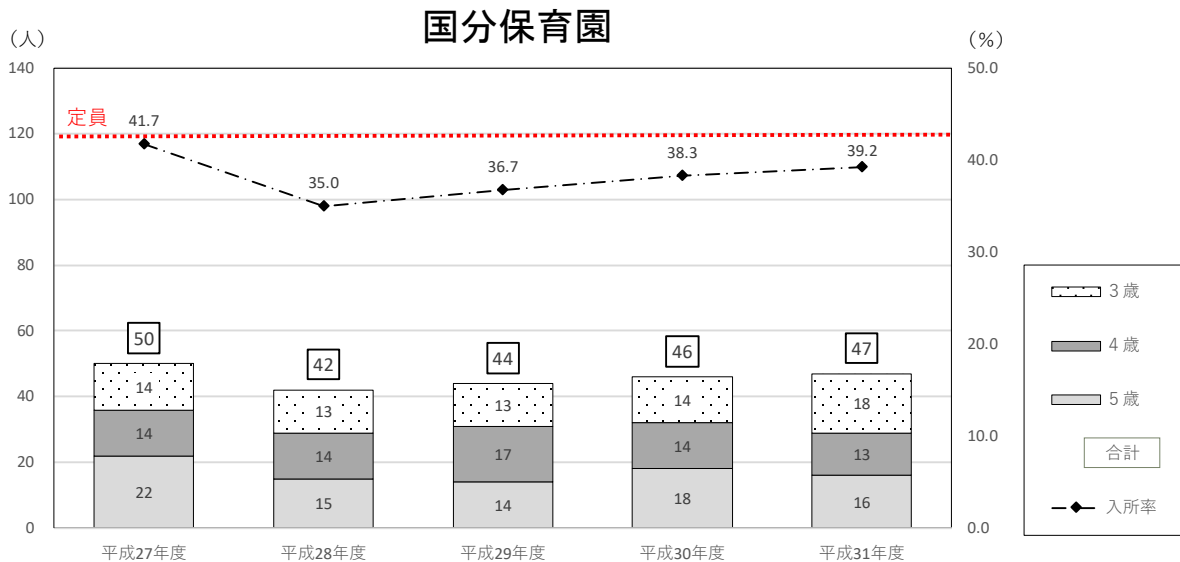
片原一色保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	90	58	9	16	15	8	5	5	64.4
平成28年度	90	72	16	17	17	12	9	1	80.0
平成29年度	90	75	15	19	18	13	6	4	83.3
平成30年度	90	88	22	20	19	11	15	1	97.8
平成31年度	90	87	20	20	20	15	11	1	96.7



### ④国分保育園

(人、%)

国分保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	入所率
平成27年度	120	50	22	14	14	41.7
平成28年度	120	42	15	14	13	35.0
平成29年度	120	44	14	17	13	36.7
平成30年度	120	46	18	14	14	38.3
平成31年度	120	47	16	13	18	39.2

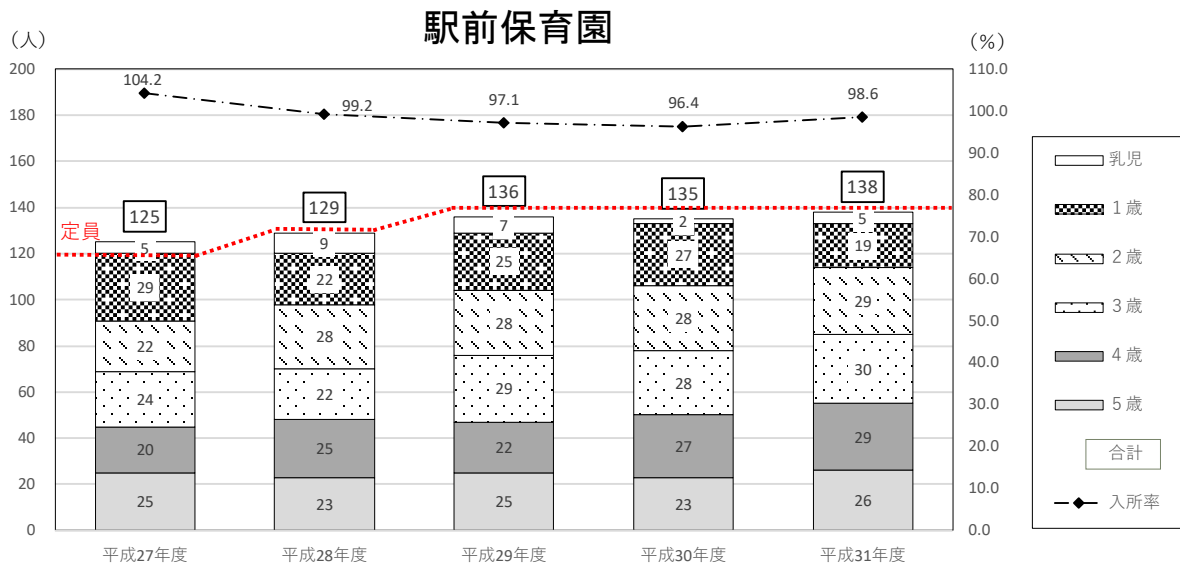




### ⑤ 駅前保育園

(人、%)

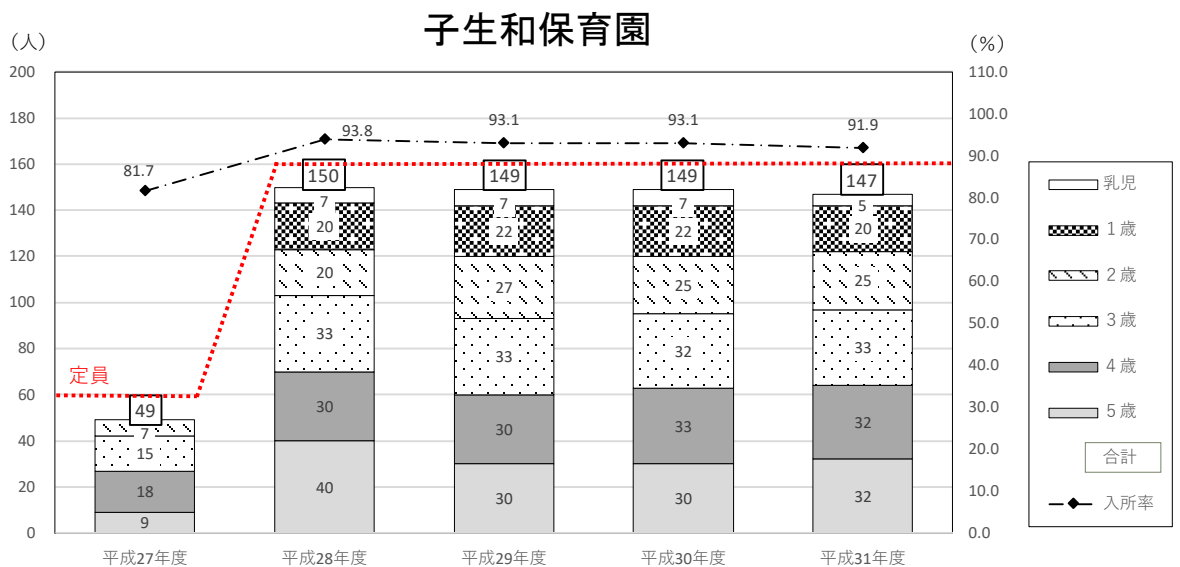
駅前保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	120	125	25	20	24	22	29	5	104.2
平成28年度	130	129	23	25	22	28	22	9	99.2
平成29年度	140	136	25	22	29	28	25	7	97.1
平成30年度	140	135	23	27	28	28	27	2	96.4
平成31年度	140	138	26	29	30	29	19	5	98.6



### ⑥ 子生和保育園

(人、%)

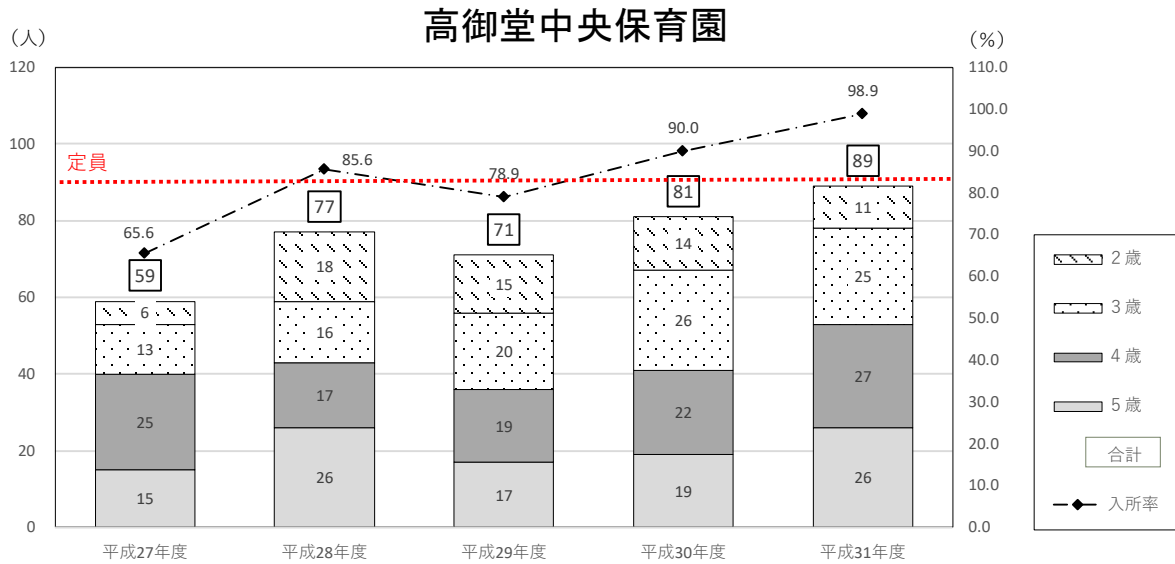
子生和保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	60	49	9	18	15	7			81.7
平成28年度	160	150	40	30	33	20	20	7	93.8
平成29年度	160	149	30	30	33	27	22	7	93.1
平成30年度	160	149	30	33	32	25	22	7	93.1
平成31年度	160	147	32	32	33	25	20	5	91.9



### ⑦高御堂中央保育園

(人、%)

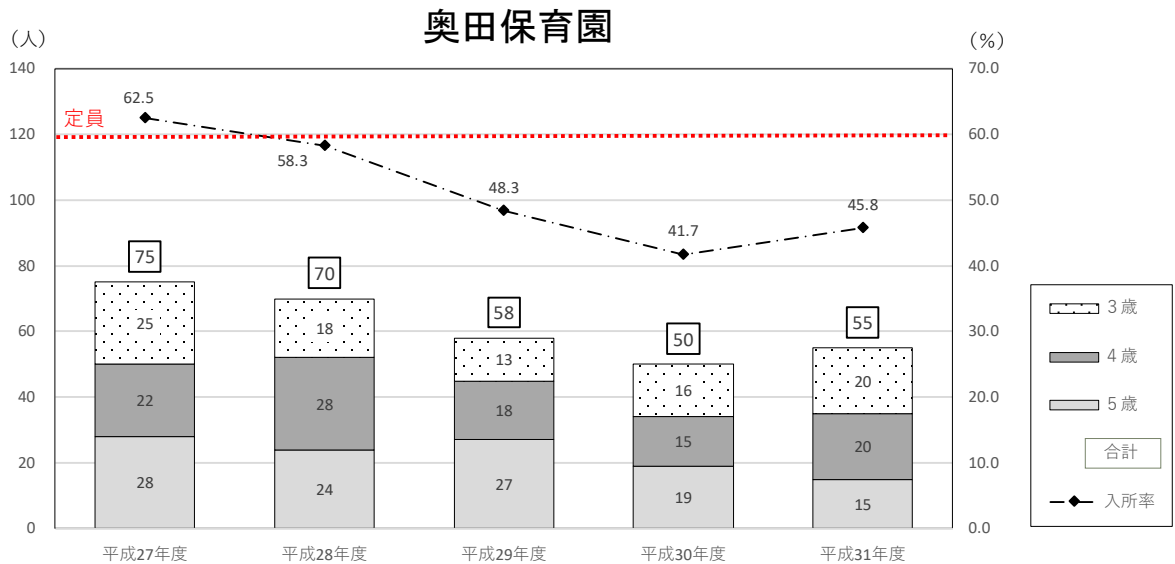
高御堂中央保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	入所率
平成27年度	90	59	15	25	13	6	65.6
平成28年度	90	77	26	17	16	18	85.6
平成29年度	90	71	17	19	20	15	78.9
平成30年度	90	81	19	22	26	14	90.0
平成31年度	90	89	26	27	25	11	98.9



### ⑧奥田保育園

(人、%)

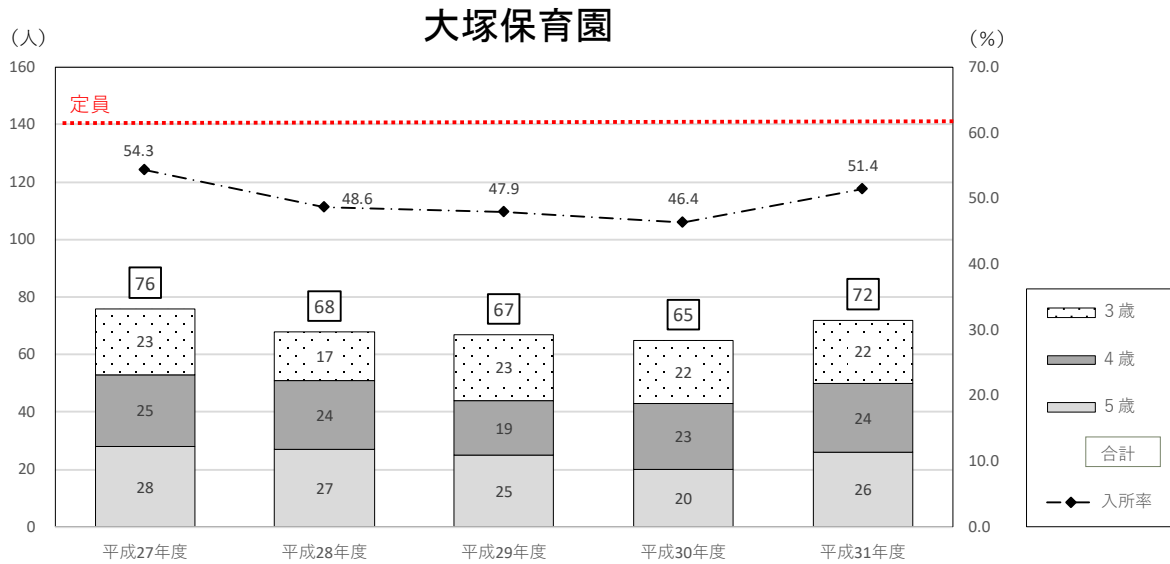
奥田保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	入所率
平成27年度	120	75	28	22	25	62.5
平成28年度	120	70	24	28	18	58.3
平成29年度	120	58	27	18	13	48.3
平成30年度	120	50	19	15	16	41.7
平成31年度	120	55	15	20	20	45.8



### ⑨大塚保育園

(人、%)

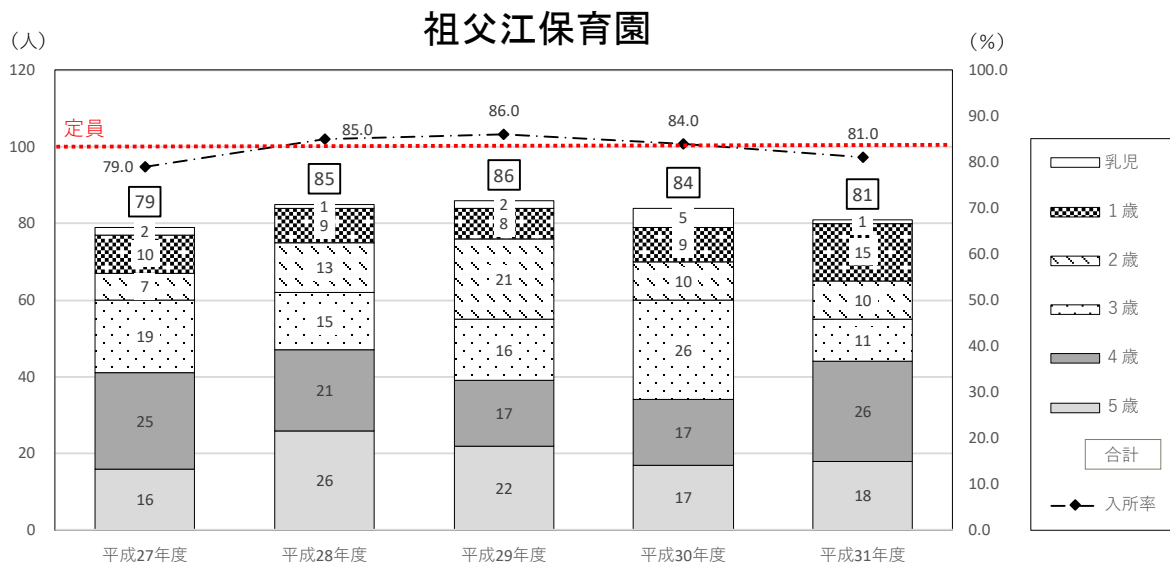
大塚保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	入所率
平成27年度	140	76	28	25	23	54.3
平成28年度	140	68	27	24	17	48.6
平成29年度	140	67	25	19	23	47.9
平成30年度	140	65	20	23	22	46.4
平成31年度	140	72	26	24	22	51.4



### ⑩祖父江保育園

(人、%)

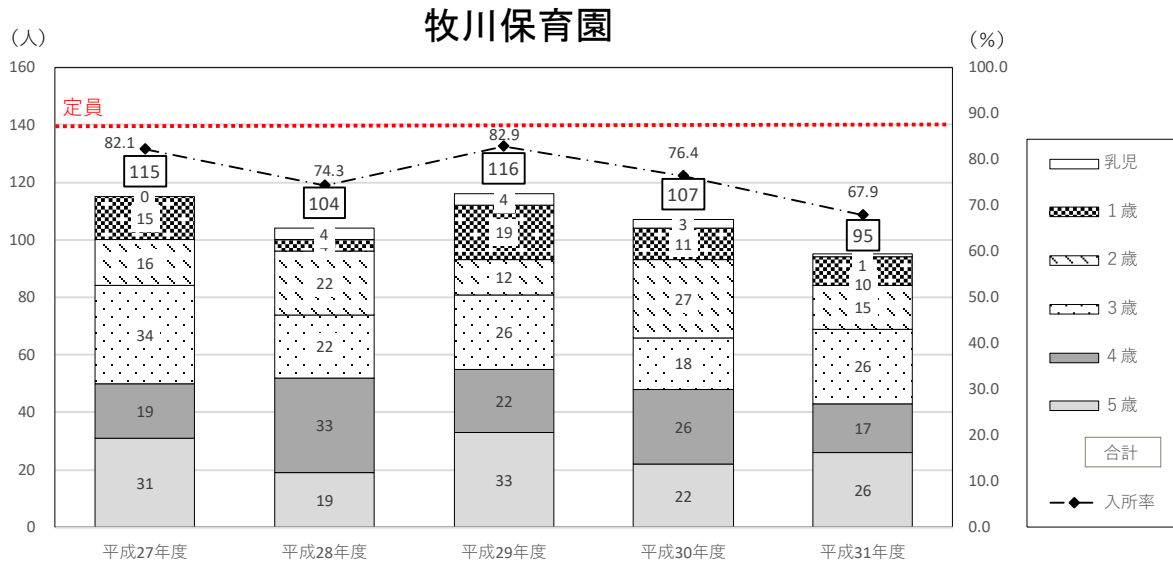
祖父江保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	100	79	16	25	19	7	10	2	79.0
平成28年度	100	85	26	21	15	13	9	1	85.0
平成29年度	100	86	22	17	16	21	8	2	86.0
平成30年度	100	84	17	17	26	10	9	5	84.0
平成31年度	100	81	18	26	11	10	15	1	81.0



### ⑪ 牧川保育園

(人、%)

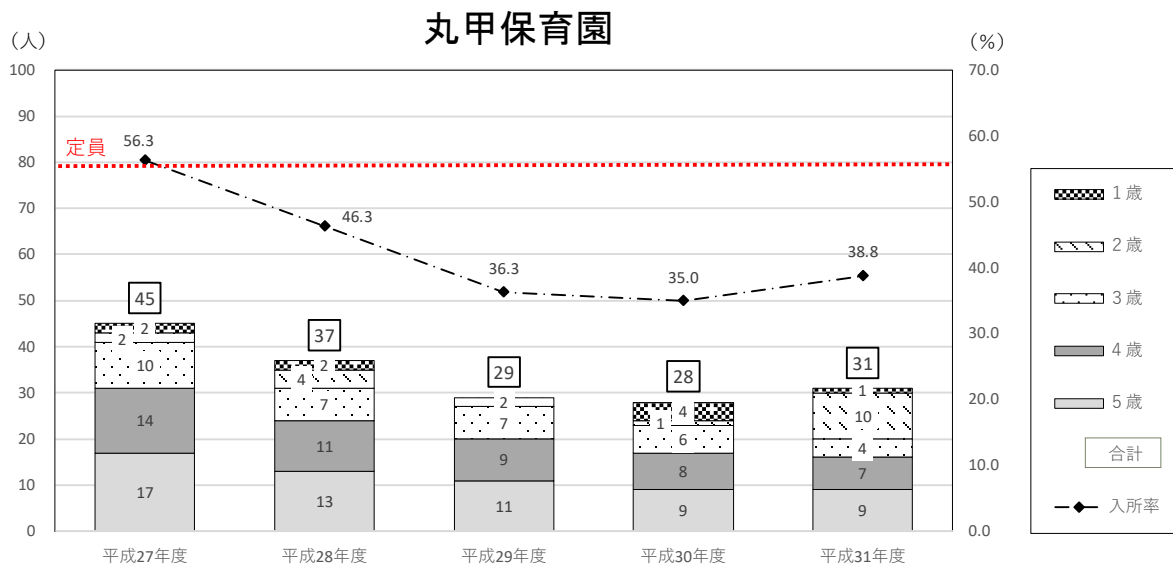
牧川保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	140	115	31	19	34	16	15	0	82.1
平成28年度	140	104	19	33	22	22	4	4	74.3
平成29年度	140	116	33	22	26	12	19	4	82.9
平成30年度	140	107	22	26	18	27	11	3	76.4
平成31年度	140	95	26	17	26	15	10	1	67.9



### ⑫ 丸甲保育園

(人、%)

丸甲保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	入所率
平成27年度	80	45	17	14	10	2	2	56.3
平成28年度	80	37	13	11	7	4	2	46.3
平成29年度	80	29	11	9	7	2	0	36.3
平成30年度	80	28	9	8	6	1	4	35.0
平成31年度	80	31	9	7	4	10	1	38.8

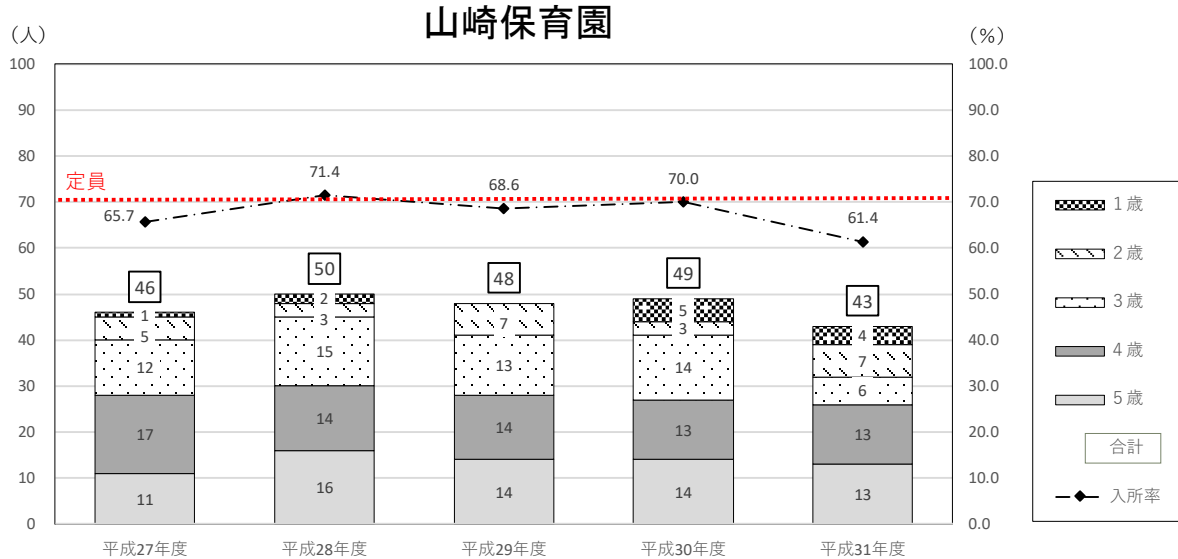




⑮山崎保育園

(人、%)

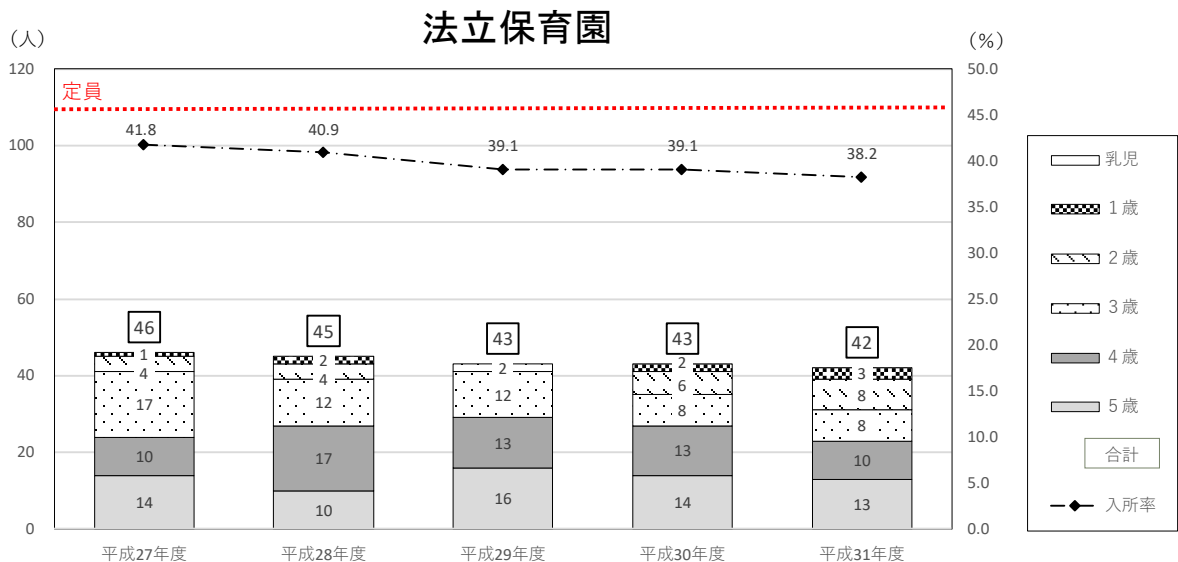
山崎保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	入所率
平成27年度	70	46	11	17	12	5	1	65.7
平成28年度	70	50	16	14	15	3	2	71.4
平成29年度	70	48	14	14	13	7	0	68.6
平成30年度	70	49	14	13	14	3	5	70.0
平成31年度	70	43	13	13	6	7	4	61.4



⑯法定保育園

(人、%)

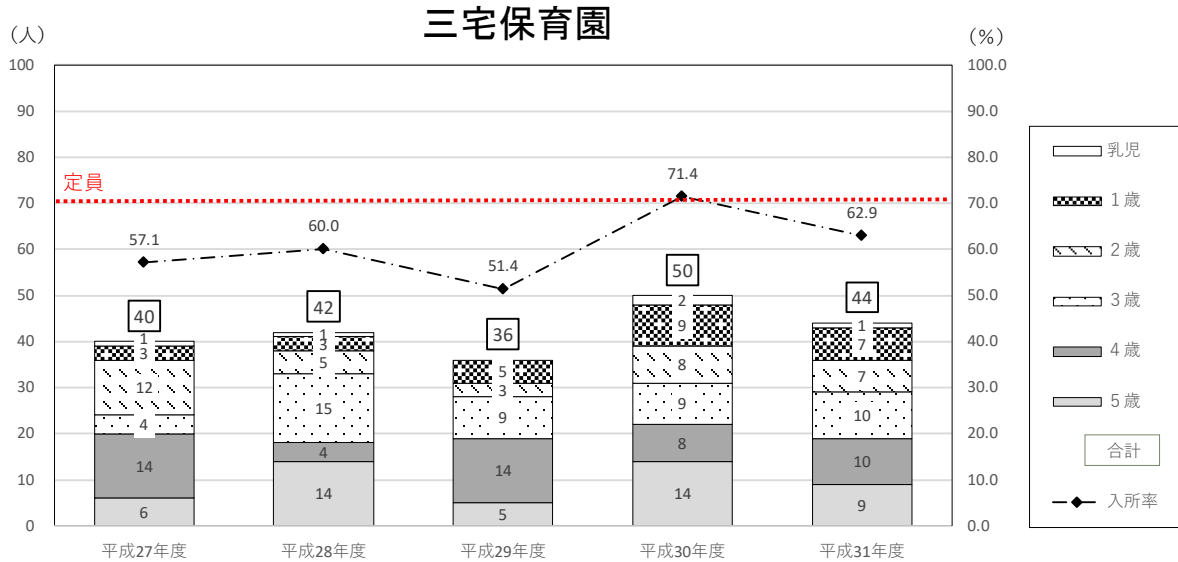
法定保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	110	46	14	10	17	4	1	0	41.8
平成28年度	110	45	10	17	12	4	2	0	40.9
平成29年度	110	43	16	13	12	2	0	0	39.1
平成30年度	110	43	14	13	8	6	2	0	39.1
平成31年度	110	42	13	10	8	8	3	0	38.2



### ⑰三宅保育園

(人、%)

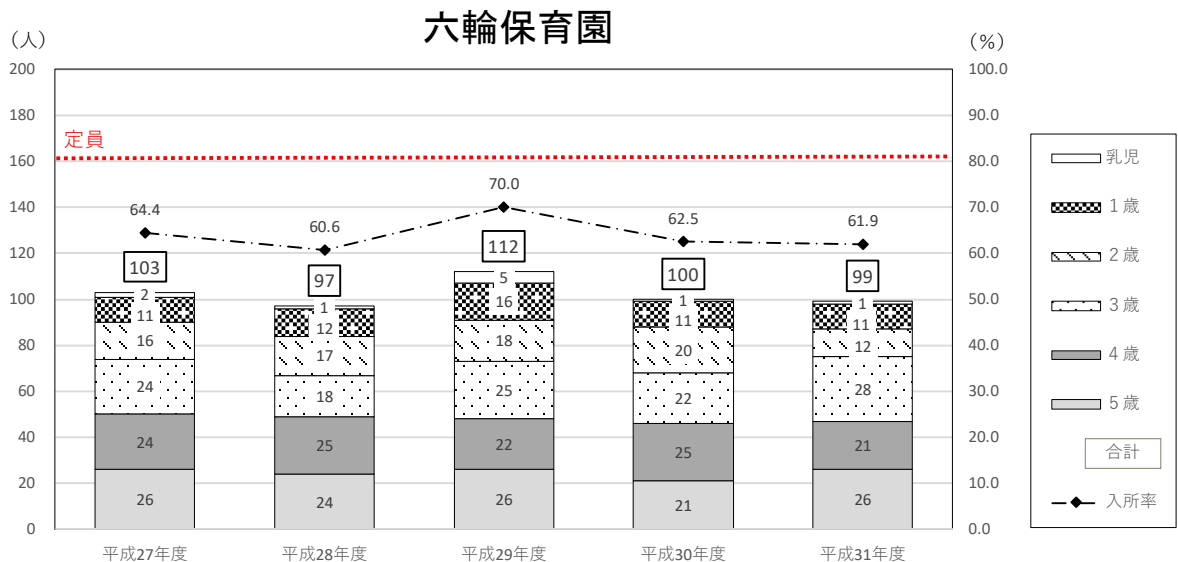
三宅保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	70	40	6	14	4	12	3	1	57.1
平成28年度	70	42	14	4	15	5	3	1	60.0
平成29年度	70	36	5	14	9	3	5	0	51.4
平成30年度	70	50	14	8	9	8	9	2	71.4
平成31年度	70	44	9	10	10	7	7	1	62.9



### ⑱六輪保育園

(人、%)

六輪保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	160	103	26	24	24	16	11	2	64.4
平成28年度	160	97	24	25	18	17	12	1	60.6
平成29年度	160	112	26	22	25	18	16	5	70.0
平成30年度	160	100	21	25	22	20	11	1	62.5
平成31年度	160	99	26	21	28	12	11	1	61.9

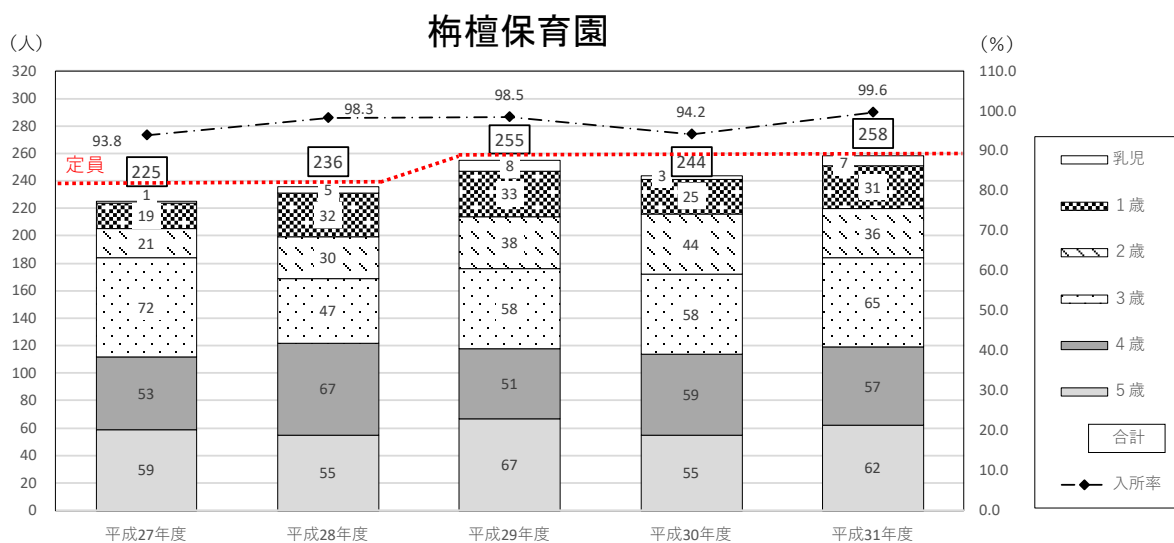


## (ウ) 私立保育園の推移

### ① 梅檀保育園

(人、%)

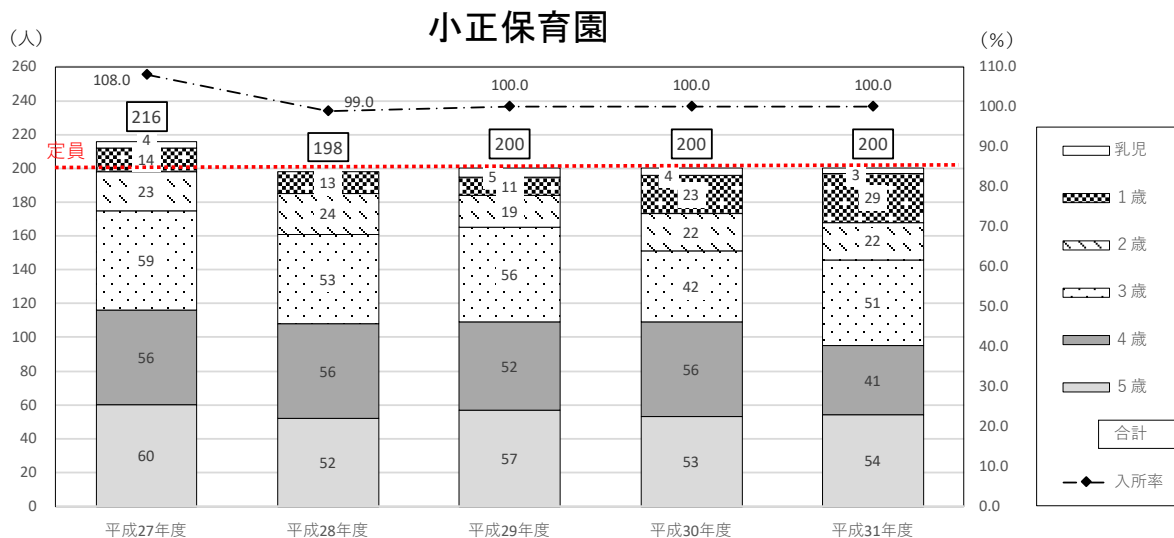
梅檀保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	240	225	59	53	72	21	19	1	93.8
平成28年度	240	236	55	67	47	30	32	5	98.3
平成29年度	259	255	67	51	58	38	33	8	98.5
平成30年度	259	244	55	59	58	44	25	3	94.2
平成31年度	259	258	62	57	65	36	31	7	99.6



### ② 小正保育園

(人、%)

小正保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	200	216	60	56	59	23	14	4	108.0
平成28年度	200	198	52	56	53	24	13	0	99.0
平成29年度	200	200	57	52	56	19	11	5	100.0
平成30年度	200	200	53	56	42	22	23	4	100.0
平成31年度	200	200	54	41	51	22	29	3	100.0



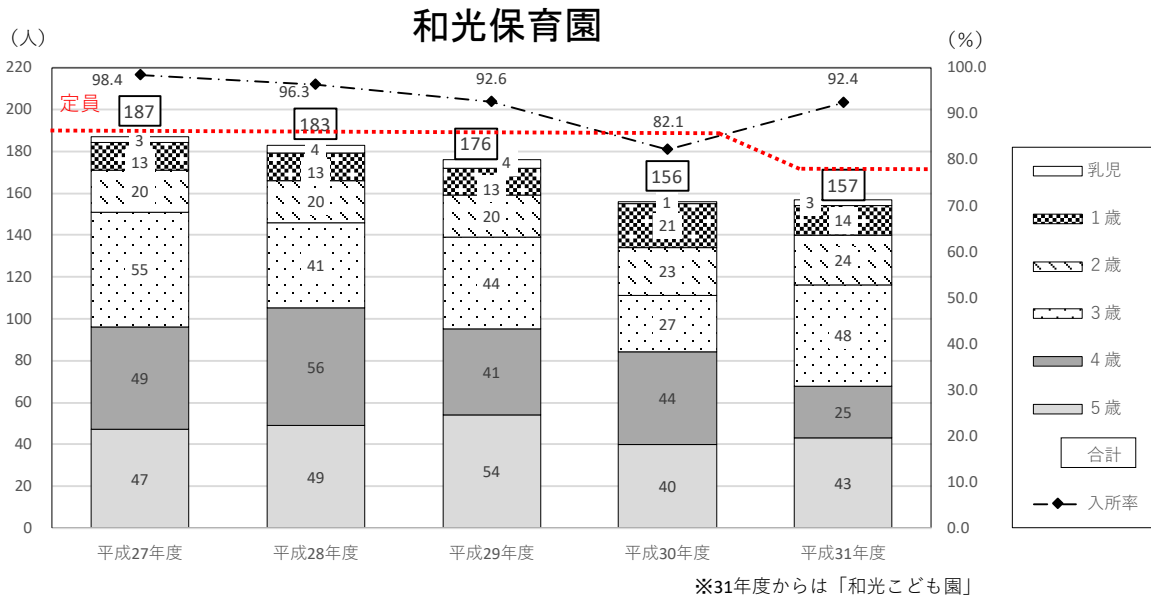




### ⑤和光保育園 ※31年度～「和光こども園」

(人、%)

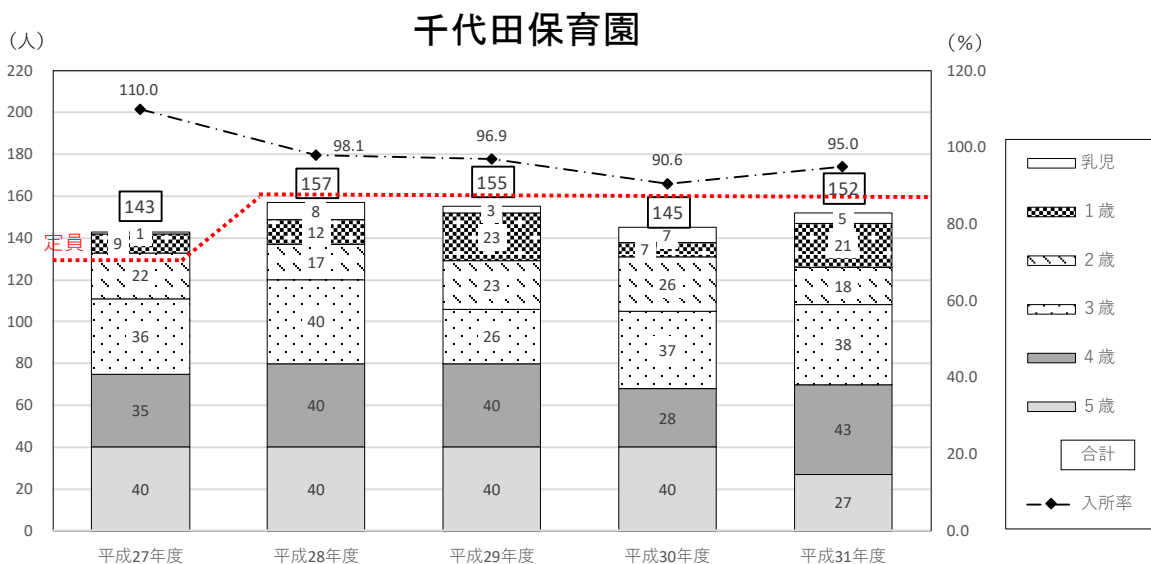
和光保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	190	187	47	49	55	20	13	3	98.4
平成28年度	190	183	49	56	41	20	13	4	96.3
平成29年度	190	176	54	41	44	20	13	4	92.6
平成30年度	190	156	40	44	27	23	21	1	82.1
平成31年度	170	157	43	25	48	24	14	3	92.4



### ⑥千代田保育園

(人、%)

千代田保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	130	143	40	35	36	22	9	1	110.0
平成28年度	160	157	40	40	40	17	12	8	98.1
平成29年度	160	155	40	40	26	23	23	3	96.9
平成30年度	160	145	40	28	37	26	7	7	90.6
平成31年度	160	152	27	43	38	18	21	5	95.0

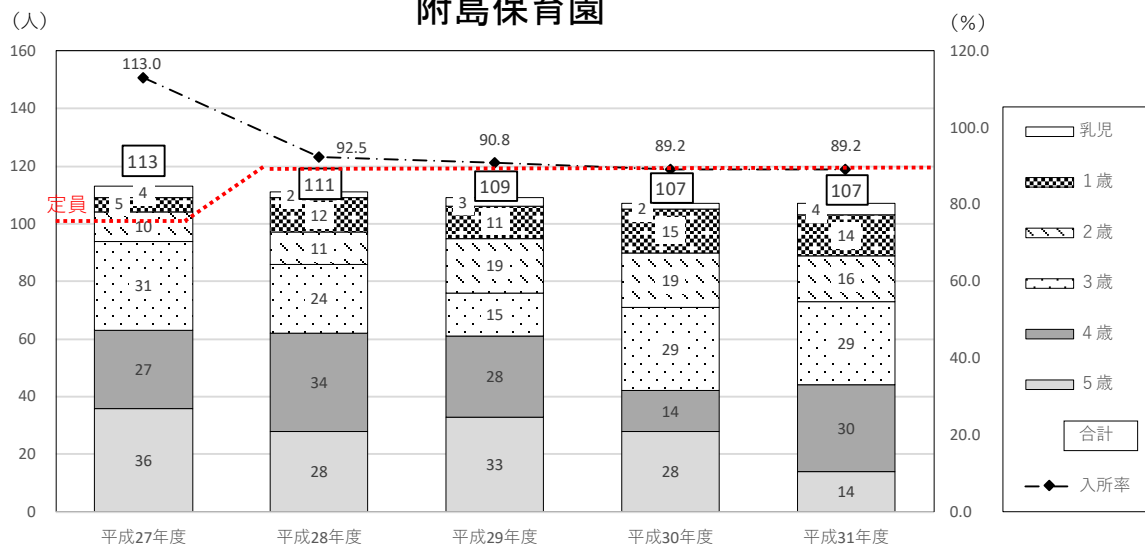


## ⑦附島保育園

(人、%)

附島保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	100	113	36	27	31	10	5	4	113.0
平成28年度	120	111	28	34	24	11	12	2	92.5
平成29年度	120	109	33	28	15	19	11	3	90.8
平成30年度	120	107	28	14	29	19	15	2	89.2
平成31年度	120	107	14	30	29	16	14	4	89.2

### 附島保育園

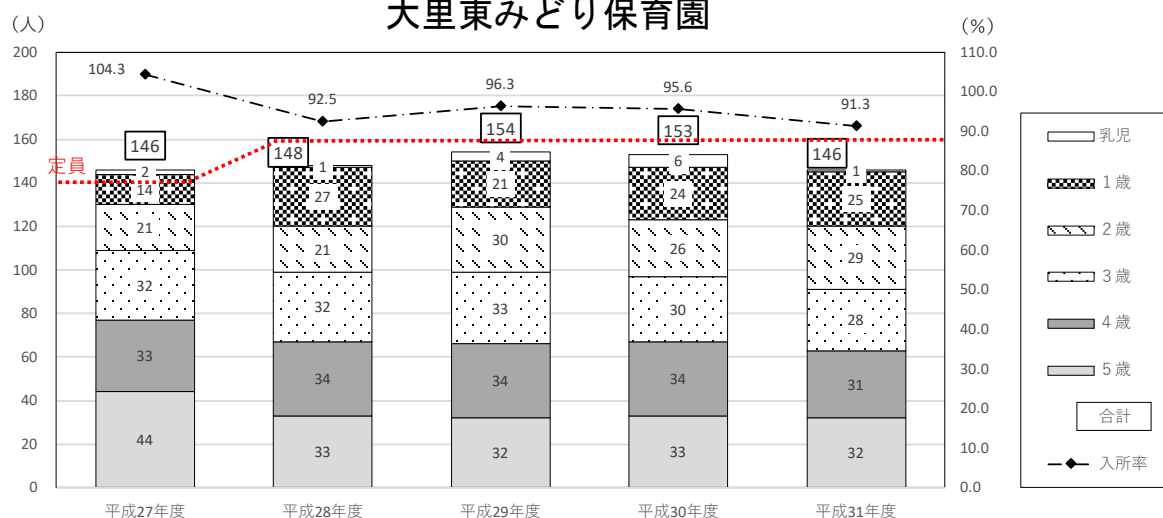


## ⑧大里東みどり保育園

(人、%)

大里東みどり保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	140	146	44	33	32	21	14	2	104.3
平成28年度	160	148	33	34	32	21	27	1	92.5
平成29年度	160	154	32	34	33	30	21	4	96.3
平成30年度	160	153	33	34	30	26	24	6	95.6
平成31年度	160	146	32	31	28	29	25	1	91.3

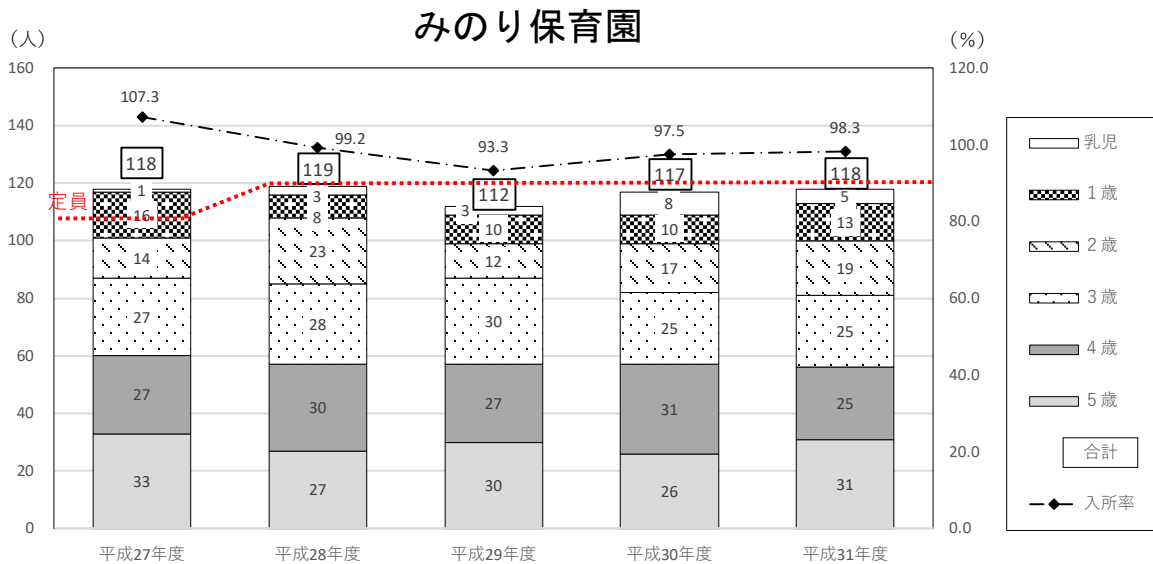
### 大里東みどり保育園



## ⑨みのり保育園

(人、%)

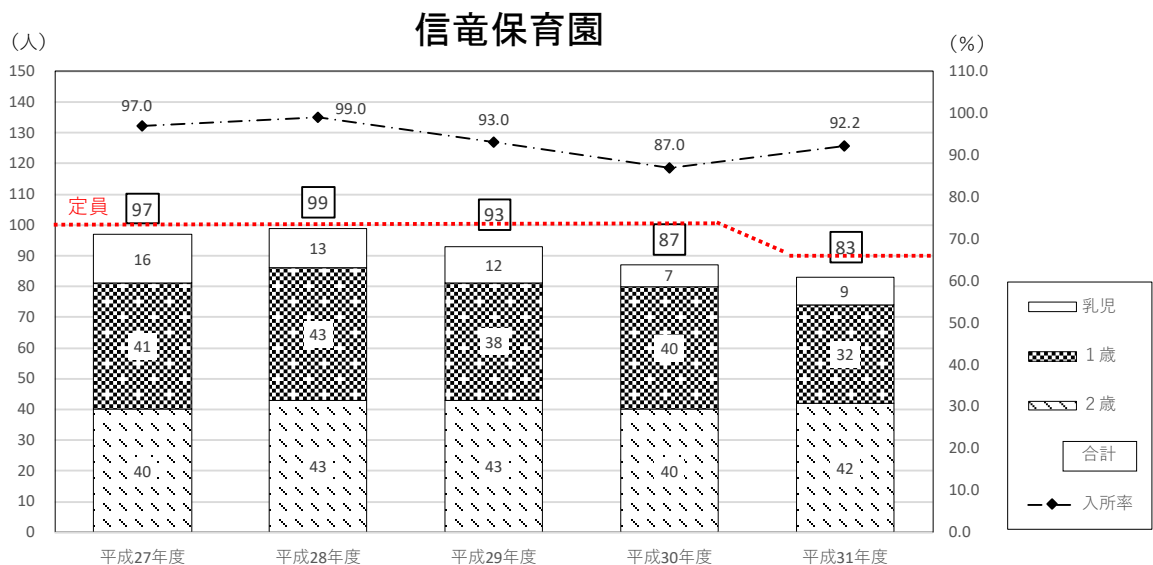
みのり保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	110	118	33	27	27	14	16	1	107.3
平成28年度	120	119	27	30	28	23	8	3	99.2
平成29年度	120	112	30	27	30	12	10	3	93.3
平成30年度	120	117	26	31	25	17	10	8	97.5
平成31年度	120	118	31	25	25	19	13	5	98.3



## ⑩信竜保育園

(人、%)

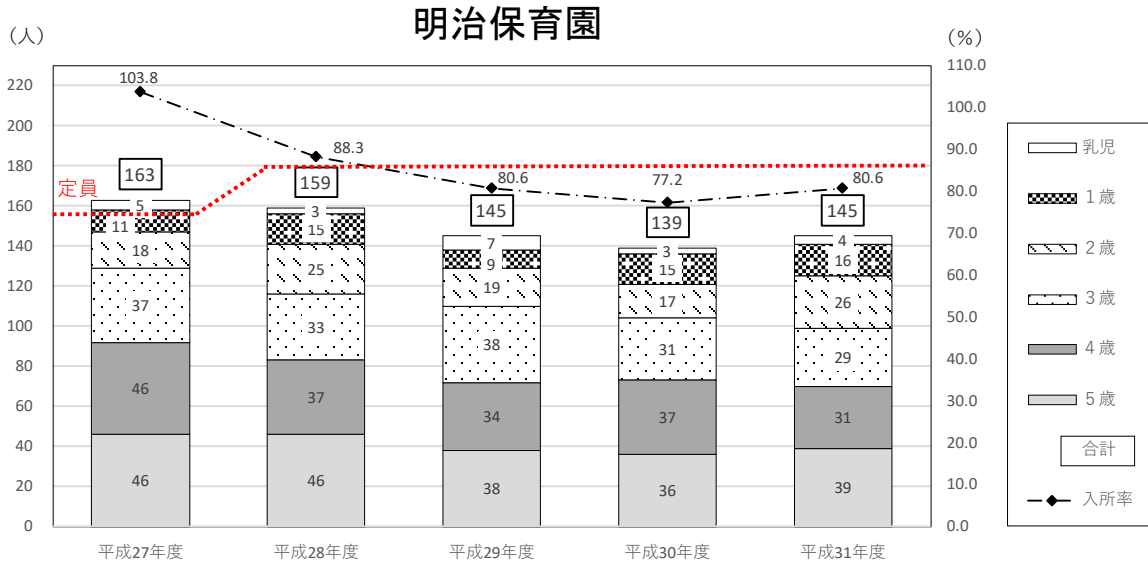
信竜保育園	定員	合計	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	100	97	40	41	16	97.0
平成28年度	100	99	43	43	13	99.0
平成29年度	100	93	43	38	12	93.0
平成30年度	100	87	40	40	7	87.0
平成31年度	90	83	42	32	9	92.2



## ⑪ 明治保育園

(人、%)

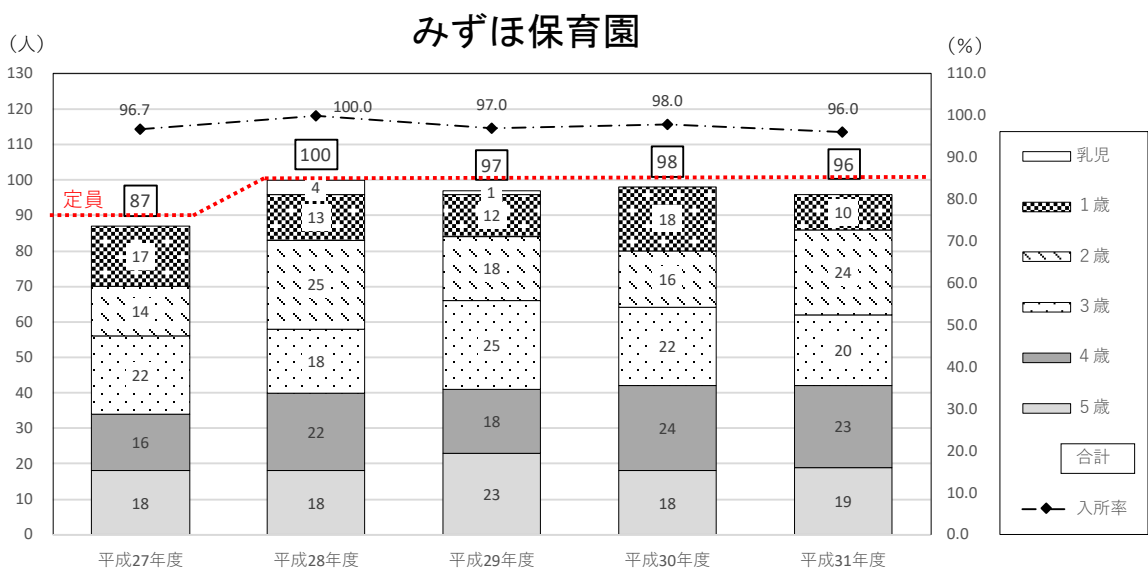
明治保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	157	163	46	46	37	18	11	5	103.8
平成28年度	180	159	46	37	33	25	15	3	88.3
平成29年度	180	145	38	34	38	19	9	7	80.6
平成30年度	180	139	36	37	31	17	15	3	77.2
平成31年度	180	145	39	31	29	26	16	4	80.6



## ⑫ みずほ保育園

(人、%)

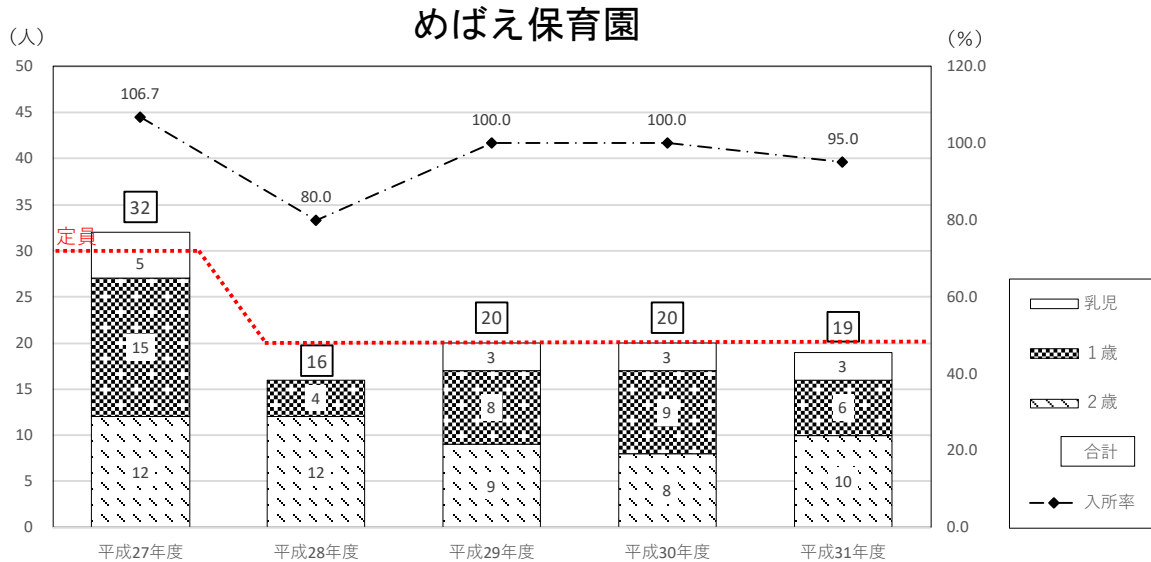
みずほ保育園	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	90	87	18	16	22	14	17	0	96.7
平成28年度	100	100	18	22	18	25	13	4	100.0
平成29年度	100	97	23	18	25	18	12	1	97.0
平成30年度	100	98	18	24	22	16	18	0	98.0
平成31年度	100	96	19	23	20	24	10	0	96.0



### ⑬めばえ保育園

(人、%)

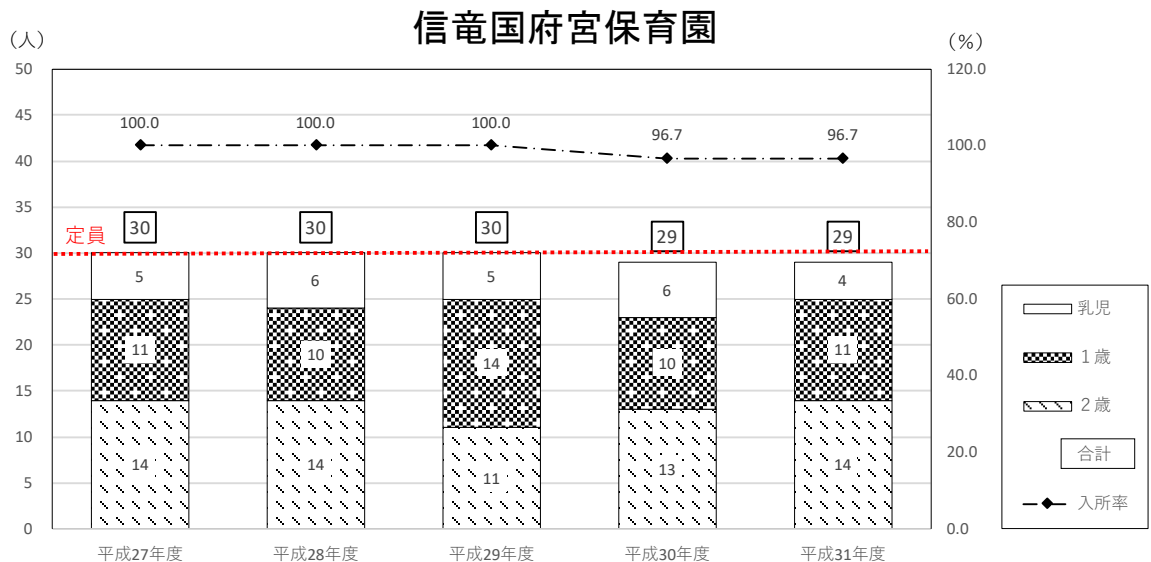
めばえ保育園	定員	合計	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	30	32	12	15	5	106.7
平成28年度	20	16	12	4	0	80.0
平成29年度	20	20	9	8	3	100.0
平成30年度	20	20	8	9	3	100.0
平成31年度	20	19	10	6	3	95.0



### ⑭信竜国府宮保育園

(人、%)

信竜国府宮保育園	定員	合計	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度	30	30	14	11	5	100.0
平成28年度	30	30	14	10	6	100.0
平成29年度	30	30	11	14	5	100.0
平成30年度	30	29	13	10	6	96.7
平成31年度	30	29	14	11	4	96.7

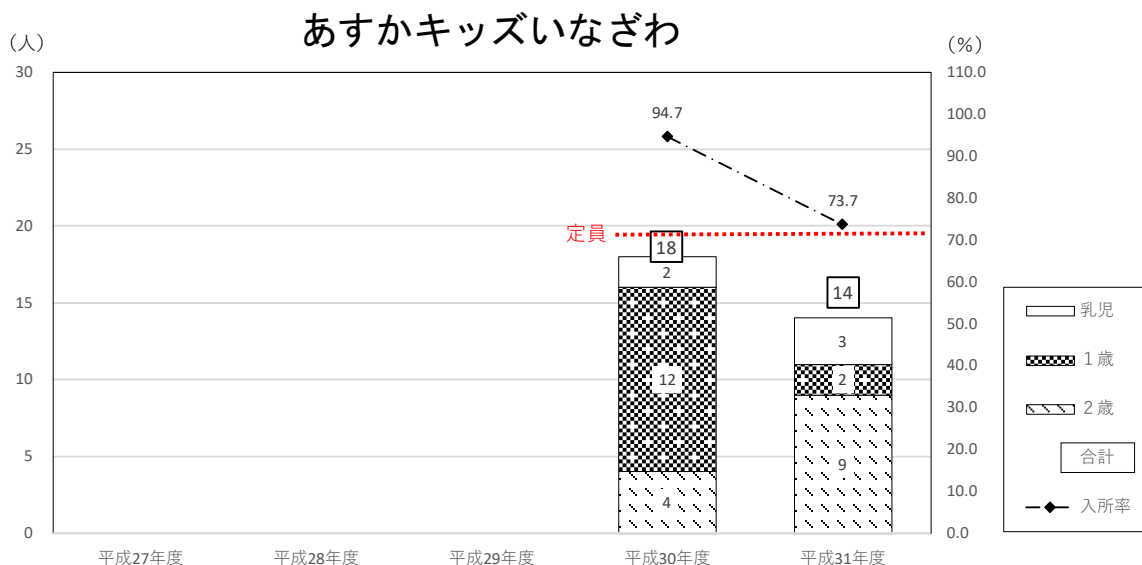


【小規模保育事業所】

⑮ あすかキッズいなざわ

(人、%)

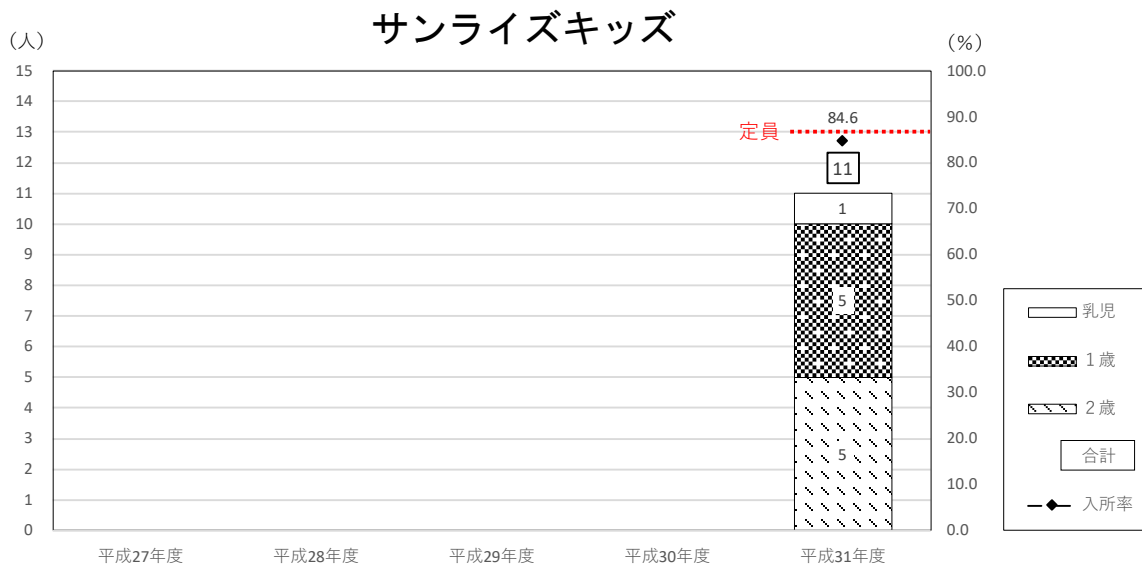
あすかキッズいなざわ	定員	合計	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度						
平成28年度						
平成29年度						
平成30年度	19	18	4	12	2	94.7
平成31年度	19	14	9	2	3	73.7



⑯ サンライズキッズ

(人、%)

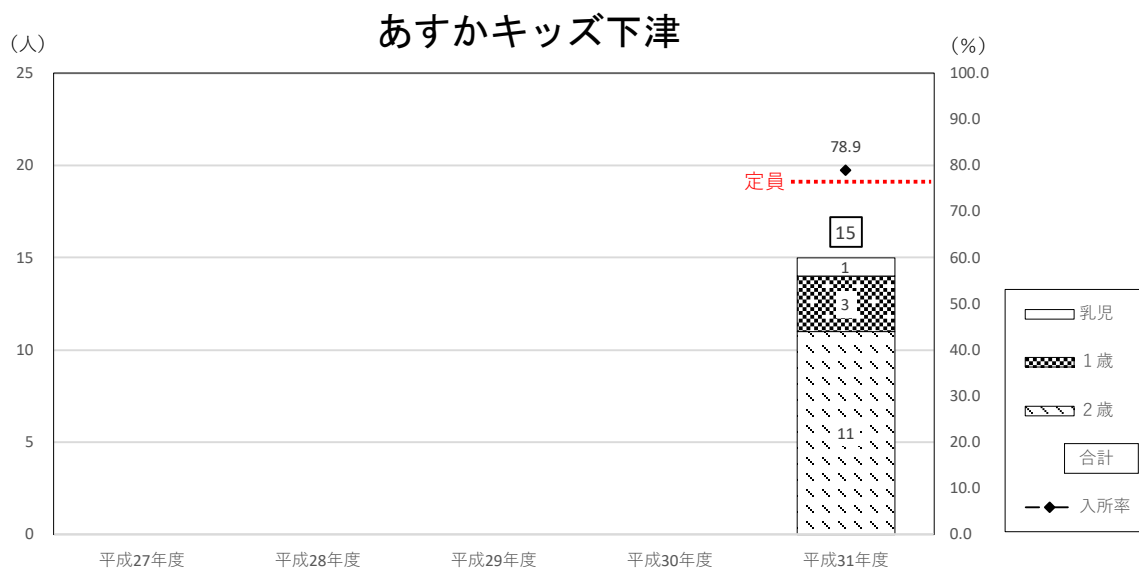
サンライズキッズ	定員	合計	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度						
平成28年度						
平成29年度						
平成30年度						
平成31年度	13	11	5	5	1	84.6



⑰ あすかキッズ下津

(人、%)

あすかキッズ下津	定員	合計	2歳	1歳	乳児	入所率
平成27年度						
平成28年度						
平成29年度						
平成30年度						
平成31年度	19	15	11	3	1	78.9



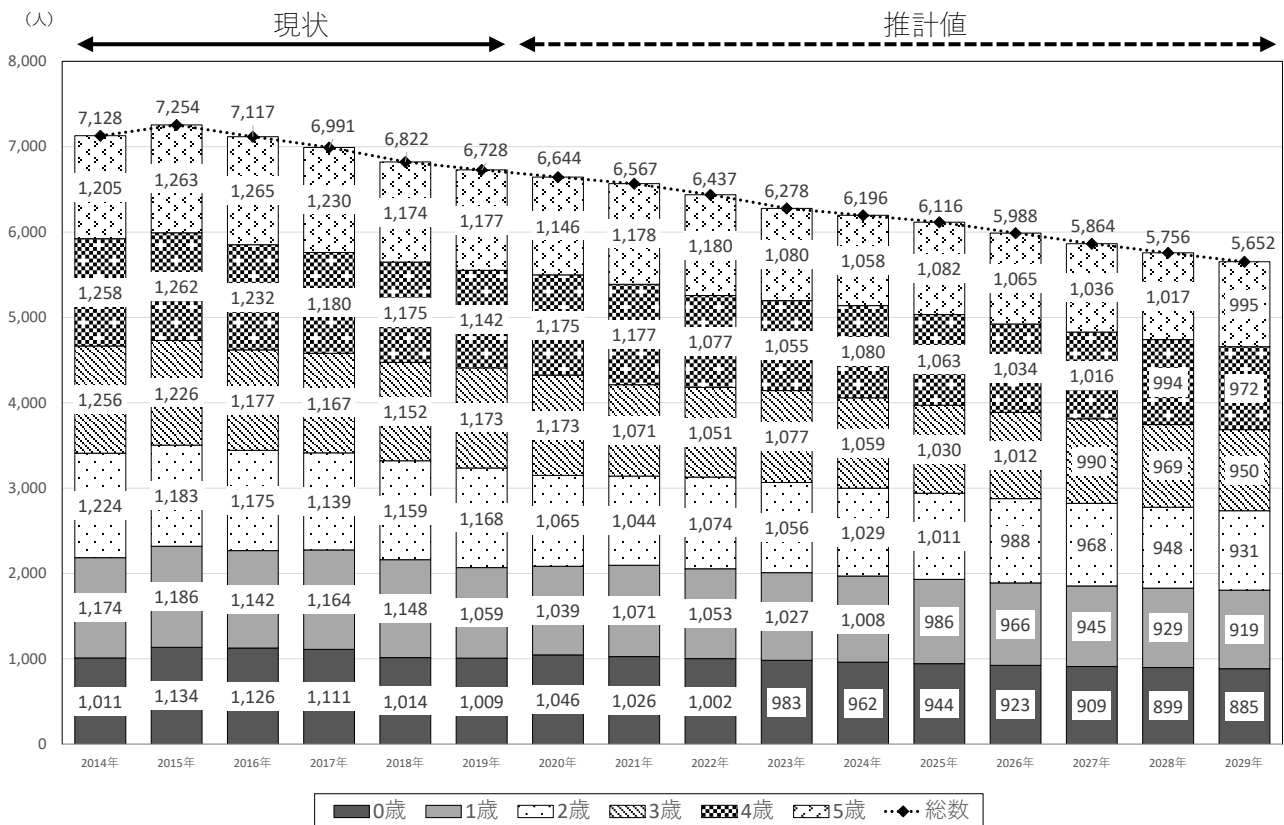


## 2. 将来の保育需要の見通しからの視点

### 1) 就学前児童数の見通し

本市の就学前児童数（0歳～5歳）を住民基本台帳を元に推計すると、以下のように見通されます。就学前児童数は、2019年では6,728人ですが、10年後の2029年では5,652人と1,000人以上減少するものと思われます。また、年齢別にみても一様に減少することが見通されます。

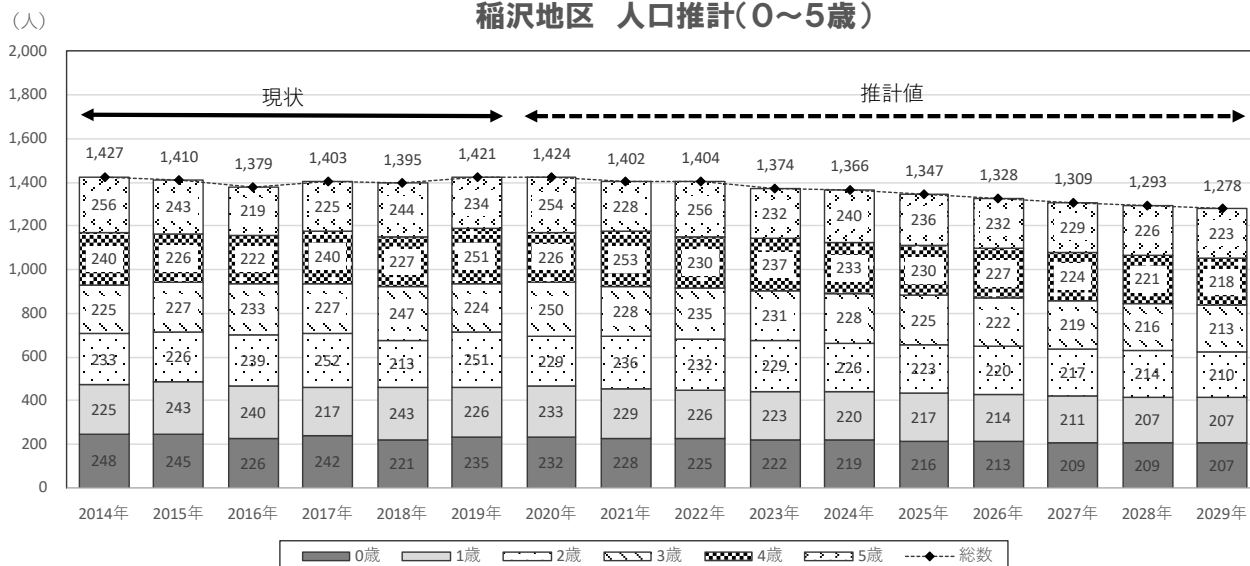
●就学前児童の総人口の見通し



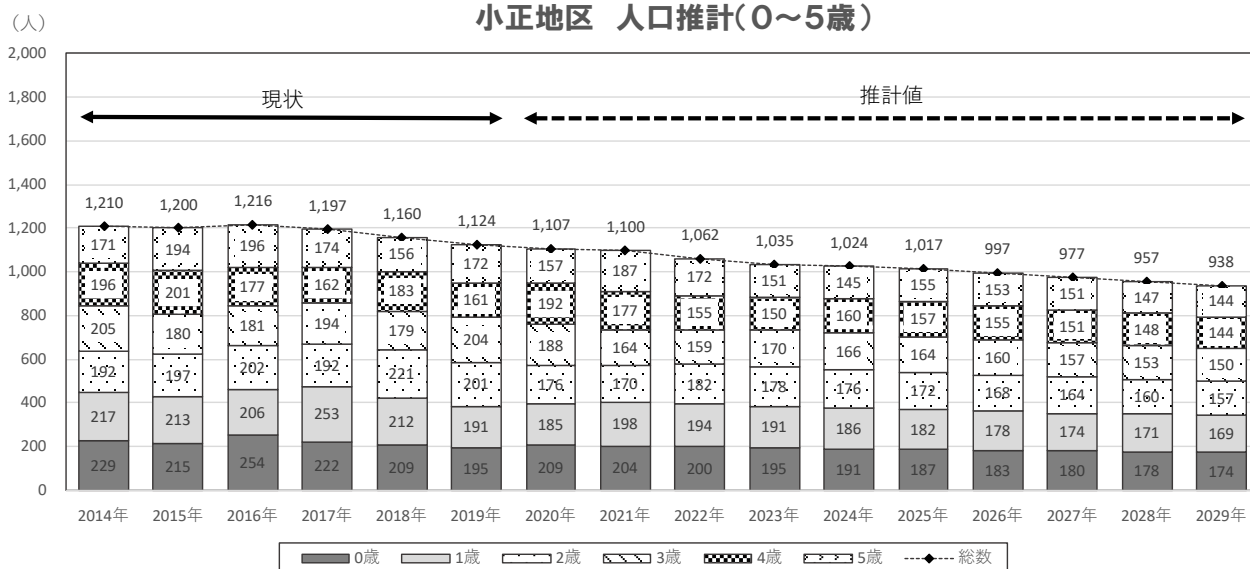
また、今回の検討の対象となる「0～5歳」までの今後の人口は、地区別に次のように見通されます。

※この推計は、住民基本台帳のデータをもとに、コーホート法により地区別に推計をおこなったものです。

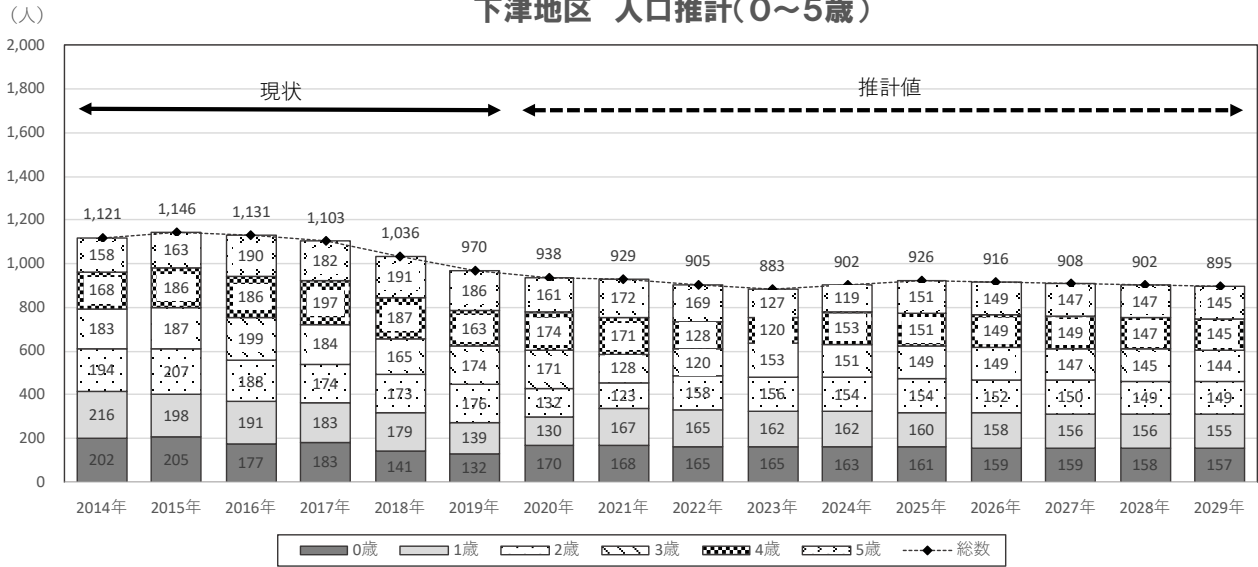
稲沢地区 人口推計(0～5歳)



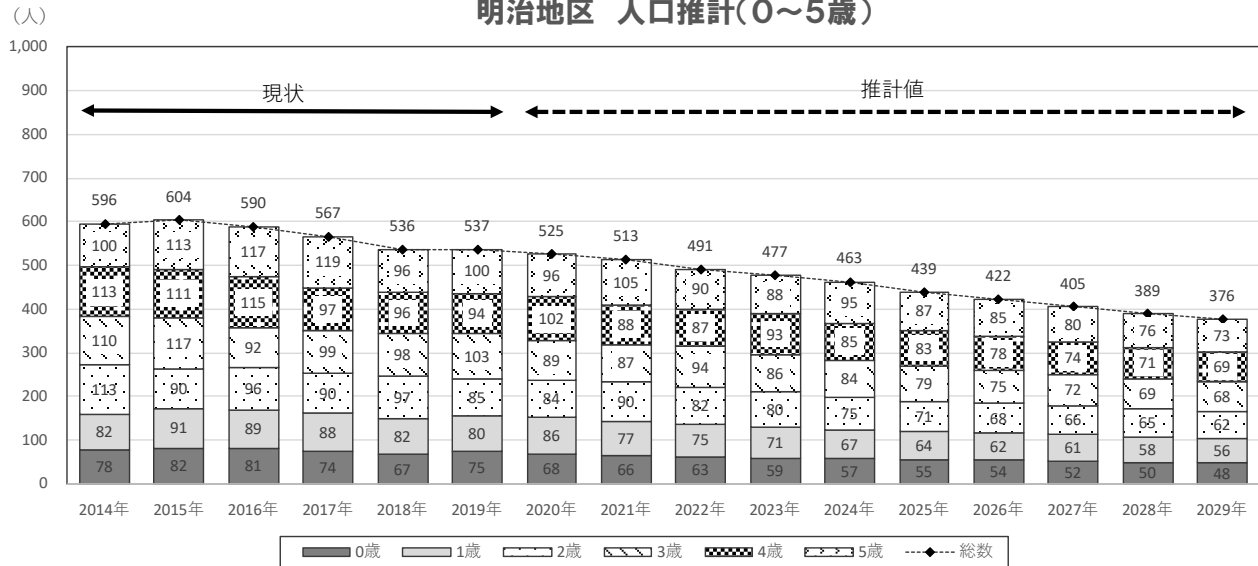
小正地区 人口推計(0～5歳)



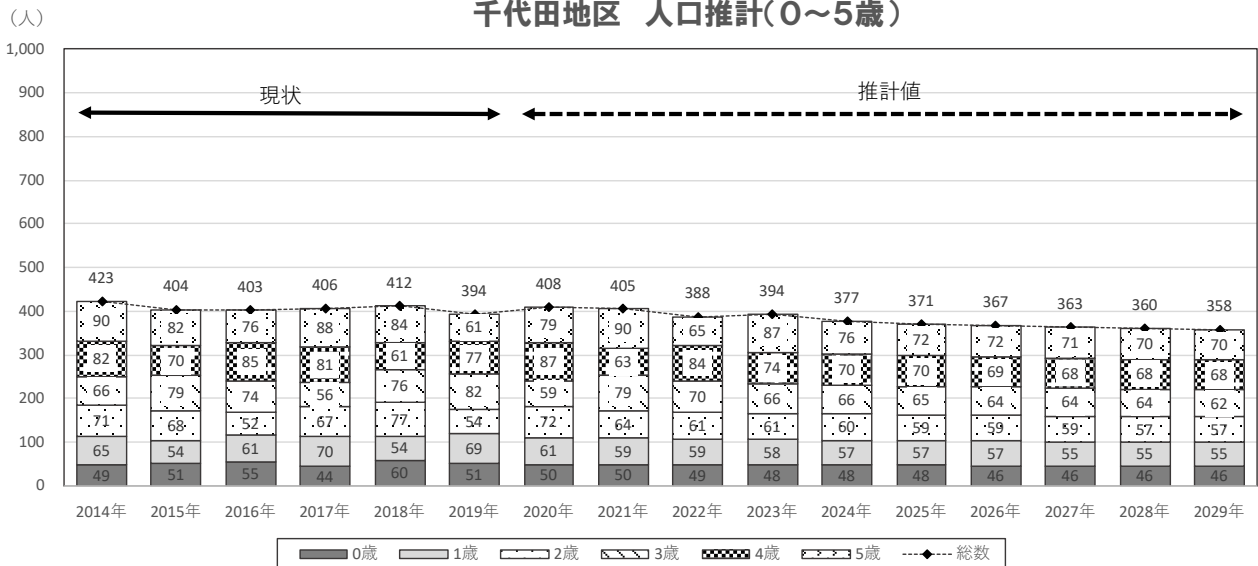
### 下津地区 人口推計(0~5歳)



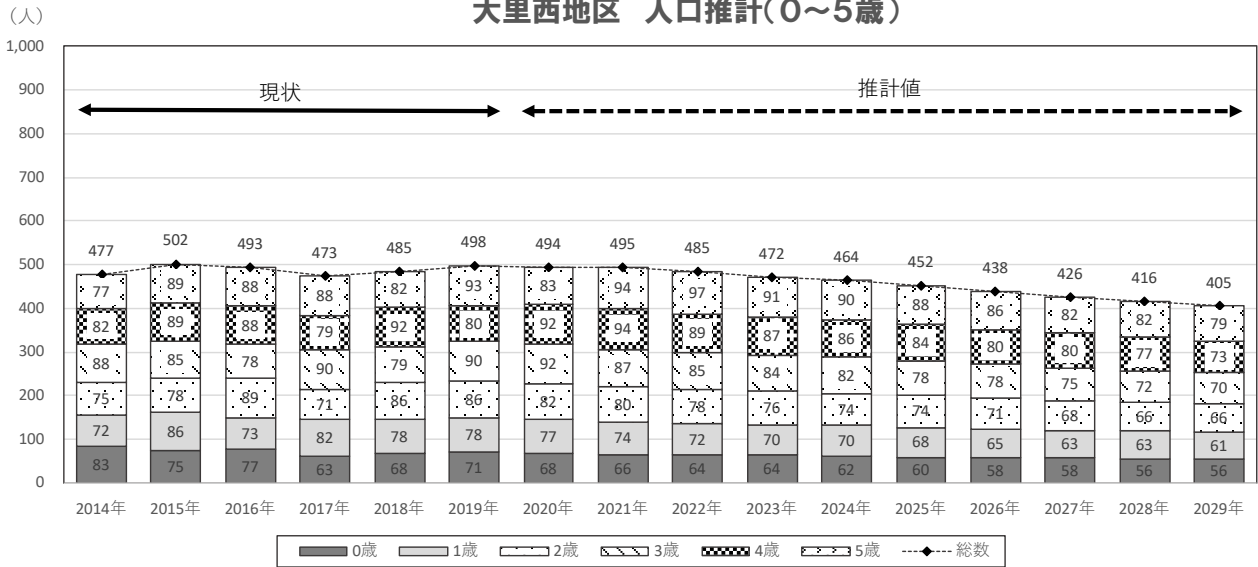
### 明治地区 人口推計(0~5歳)



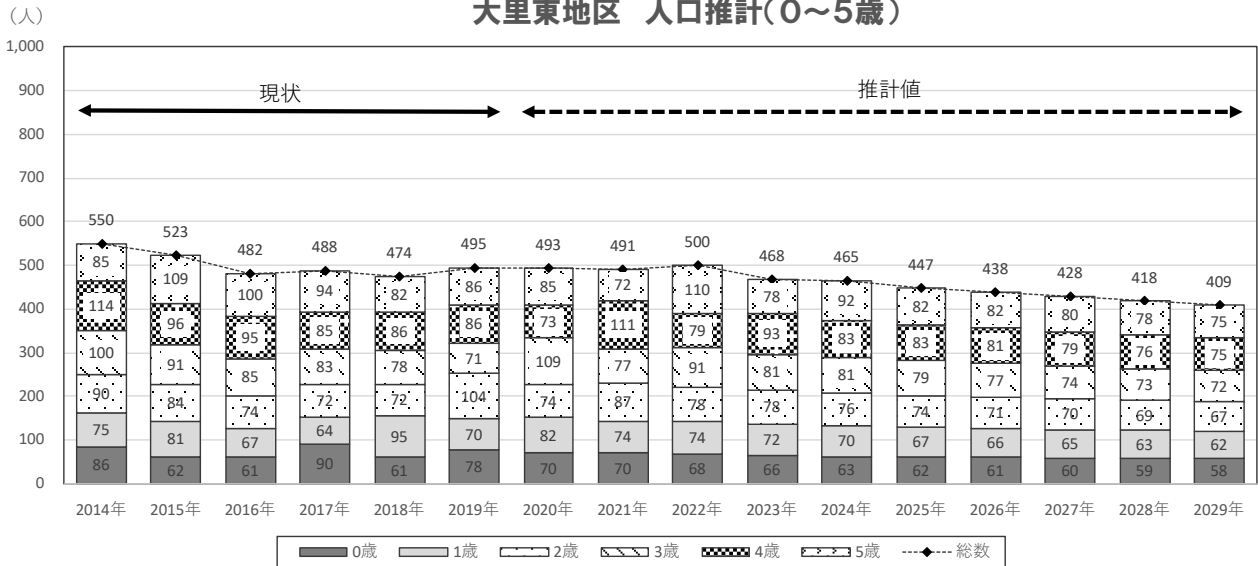
### 千代田地区 人口推計(0~5歳)



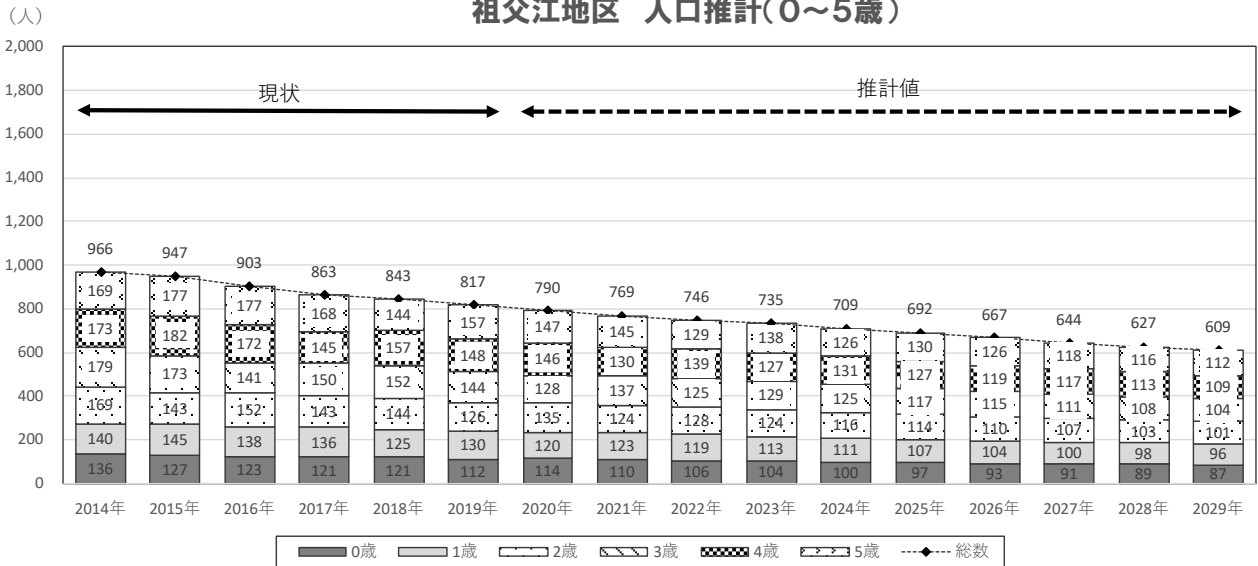
### 大里西地区 人口推計(0~5歳)



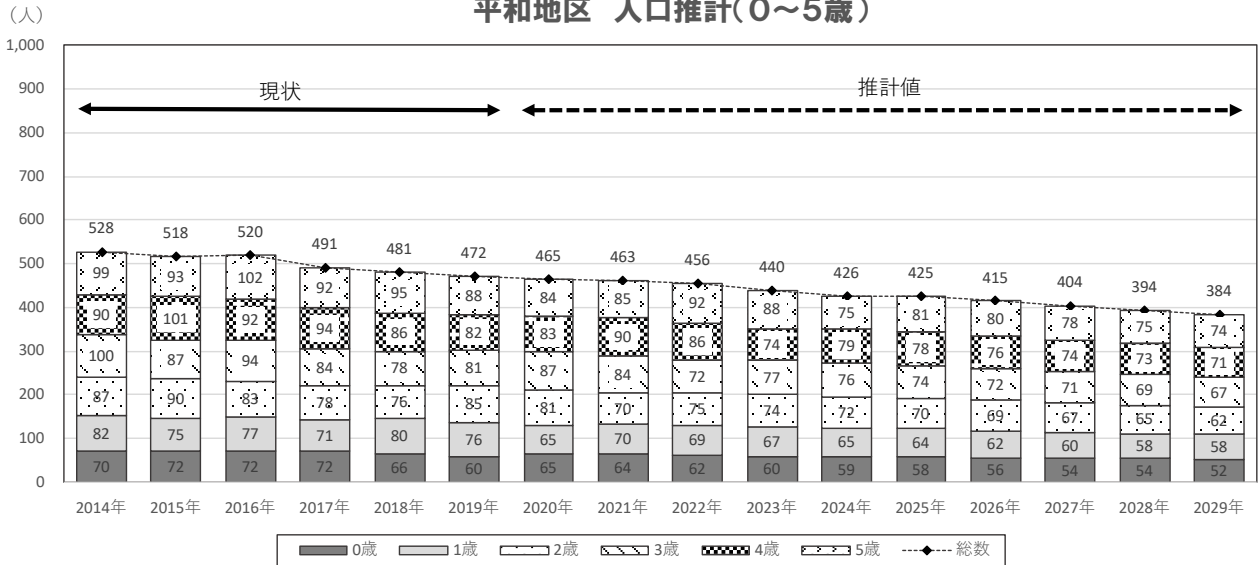
### 大里東地区 人口推計(0~5歳)



### 祖父江地区 人口推計(0~5歳)



## 平和地区 人口推計(0～5歳)



## 2) 保育需要の見通し

### ① 市全体の保育需要の見通し

「子ども・子育て支援事業計画」(令和2年3月)において、保育需要の検討をおこない、将来の保育需要は以下のように見通されています。

#### ● 今後5年間の保育需要の見通し (単位：人)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
0歳	192	192	192	192	192
1～2歳	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019
3～5歳	2,215	2,139	2,062	1,979	1,953

(注：ここで扱う「3～5歳」は2号認定を受けて保育園を希望する数です)

(資料：子ども・子育て支援事業計画)

### ② 地区別保育需要の見通し

稲沢市では、保育提供区域を東部地区・西部地区の2つの区域としています。地区内の保育対象者が地区内の保育園に行くとは限りませんが、今後の保育園の統廃合等を含めたあり方を検討する一つの目安として、地区別の保育需要と地区内の保育園の定員のバランスをみてみるものとします。

※この推計は、「子ども・子育て支援事業計画」で設定された市全体の年齢階層別保育需要を、先に示した「地区別人口推計」から求められる年齢階層別の各地区の市全体に対する比率を元に、地区別に割り振ったものです。

● 今後5年間の地区別・年齢階層別保育需要

(単位：人)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
稲沢 (0歳)	43	43	43	44	44
(1・2歳)	224	219	221	223	225
(3～5歳)	458	466	449	434	425
地区計	725	729	714	701	693
小正 (0歳)	38	38	38	38	38
(1・2歳)	177	180	181	181	181
(3～5歳)	341	314	302	292	293
地区計	557	533	521	511	511
下津 (0歳)	31	32	32	33	33
(1・2歳)	140	155	156	158	160
(3～5歳)	305	270	257	262	277
地区計	476	456	445	452	470
明治 (0歳)	12	12	12	11	11
(1・2歳)	80	75	74	71	69
(3～5歳)	181	175	171	163	153
地区計	274	263	257	246	233
千代田 (0歳)	9	9	9	10	10
(1・2歳)	59	57	58	59	59
(3～5歳)	150	142	146	131	127
地区計	219	208	213	199	196
大里西 (0歳)	12	12	13	12	12
(1・2歳)	74	72	71	72	72
(3～5歳)	178	175	168	160	154
地区計	264	259	252	244	238
大里東 (0歳)	13	13	13	13	13
(1・2歳)	78	73	73	73	72
(3～5歳)	168	181	162	158	150
地区計	259	267	248	244	235
祖父江 (0歳)	21	20	20	20	20
(1・2歳)	119	118	116	114	113
(3～5歳)	266	254	253	236	230
地区計	406	393	389	370	363
平和 (0歳)	12	12	12	12	12
(1・2歳)	67	69	69	69	68
(3～5歳)	167	162	153	142	143
地区計	246	243	234	223	223

※四捨五入の関係で、地区別の各年齢の合計値と市全体の合計値が一致しない場合があります。

### 3. 保育園の老朽度や土地所有状況からの視点

施設の老朽度や土地所有状況からのチェックは、以下のようになります。

- 耐用年数を超えているか否か（建物の構造からみた法定減価償却年を超えているもの）
- 昭和56年の新耐震基準の以前に建てたものか否か
- 敷地が借地のものがあるか否か

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
		大里西保育園	下津保育園	片原一色保育園	国分保育園	駅前保育園	子生和保育園	高御堂中央保育園	奥田保育園	大塚保育園	祖父江保育園	牧川保育園	丸甲保育園	領内保育園	長岡保育園	山崎保育園	法立保育園	三宅保育園	六輪保育園
構造	木造										○	○	○	○	○	○			
	R C	○	○	○	○	○注	○	○	○	○							○	○	○
耐用年数を超えている											☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
新耐震基準以前の建設である								★	★	★	★		★	★	★	★	★	★	★
敷地が借地となっている			□		■			□					△				■	△	△

注1：⑤駅前保育園は一部鉄骨

注2：敷地の□は無償 △は一部が有償借地 ■は全敷地が有償借地

**A** 上記の3つの条件に全て該当するものは以下の保育園となります。

- ⑫丸甲保育園（但し、借地はわずか一部<15.20 m<sup>2</sup>/4, 954.20 m<sup>2</sup>>）
- ⑯法立保育園
- ⑰三宅保育園（但し、借地は6割程度<2,529.00 m<sup>2</sup>/4,047.06 m<sup>2</sup>>）
- ⑱六輪保育園（但し、借地は6割程度<1,581.55 m<sup>2</sup>/2,679.03 m<sup>2</sup>>）

**B** 耐用年数及び新耐震基準以前の建物に該当するものは以下の保育園となります。

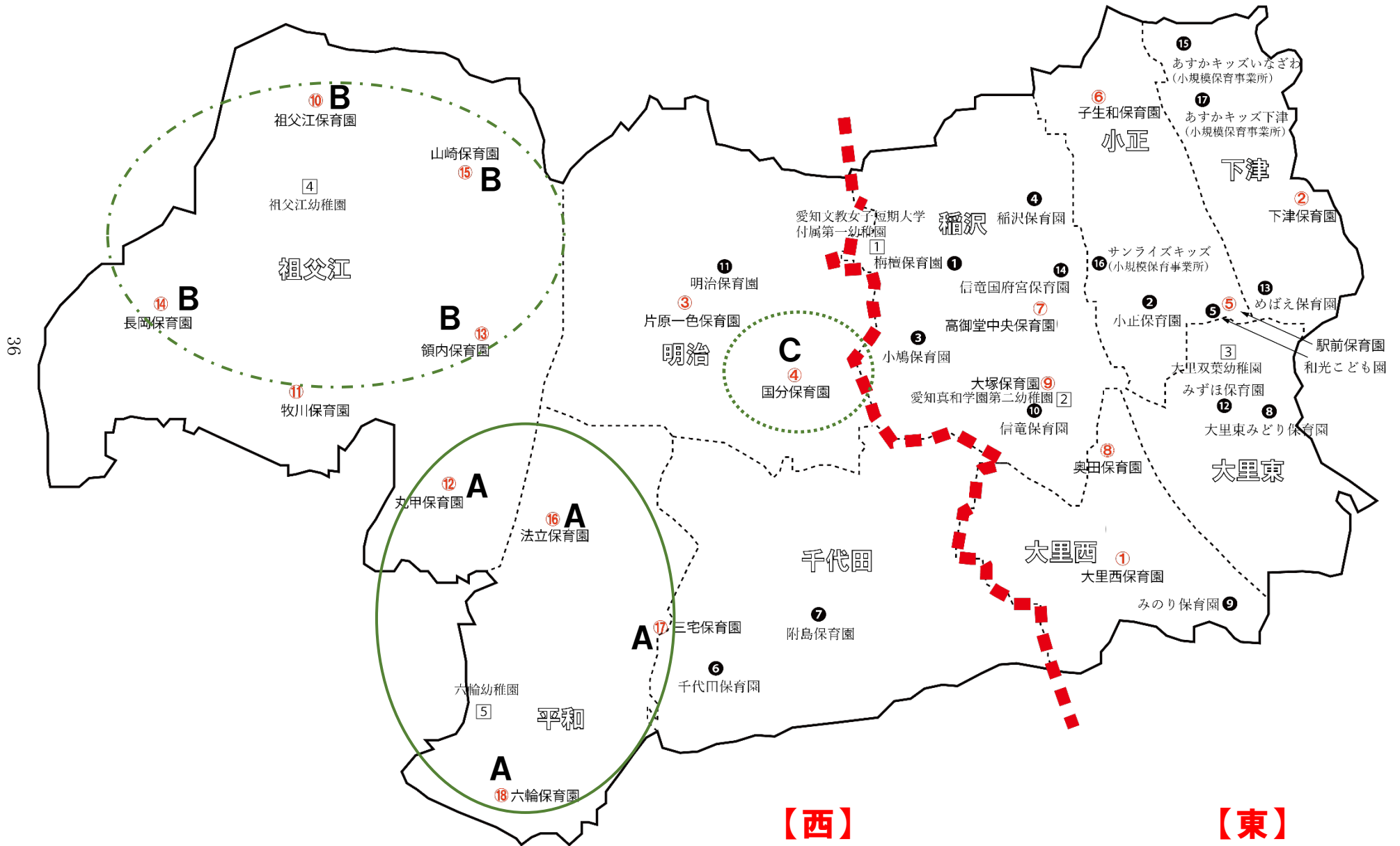
- ⑩祖父江保育園
- ⑬領内保育園
- ⑭長岡保育園
- ⑮山崎保育園

**C** 敷地が借地になっているだけで上記2つに該当しないものは以下の保育園となります。（但し、無償の場合は除く）

- ④国分保育園

以上から、再整備あるいは再編成の検討対象になりうる優先度としては、「A→B→C」となります。

● 老朽度や土地所有状況からみた再整備・再編成対象のランク付け





## 4. これまでの市の基本方針からの視点

保育園等のこれからのあり方に関しては、平成 25 年 3 月に報告された「これからの公共施設のあり方に関する報告書（稲沢市公共施設のあり方検討委員会）」及び平成 25 年 6 月の「公共施設再編に関する考え方（稲沢市）」が基本となっており、その後平成 29 年 3 月に策定された「稲沢市公共施設等総合管理計画（稲沢市）」においても、同様の考え方が示されています。

基本的な考え方としては、以下の 3 点としています。

- ① 将来の乳幼児数の減少を見据え、公立と私立が過当競争に陥らないよう、両者が共存できる環境を整える。
- ② 今後の制度改正、待機児童を生じさせない、地域バランスへの配慮といった諸条件に対応できる定員数を確保する。
- ③ 民営化も選択肢の一つとして検討する。

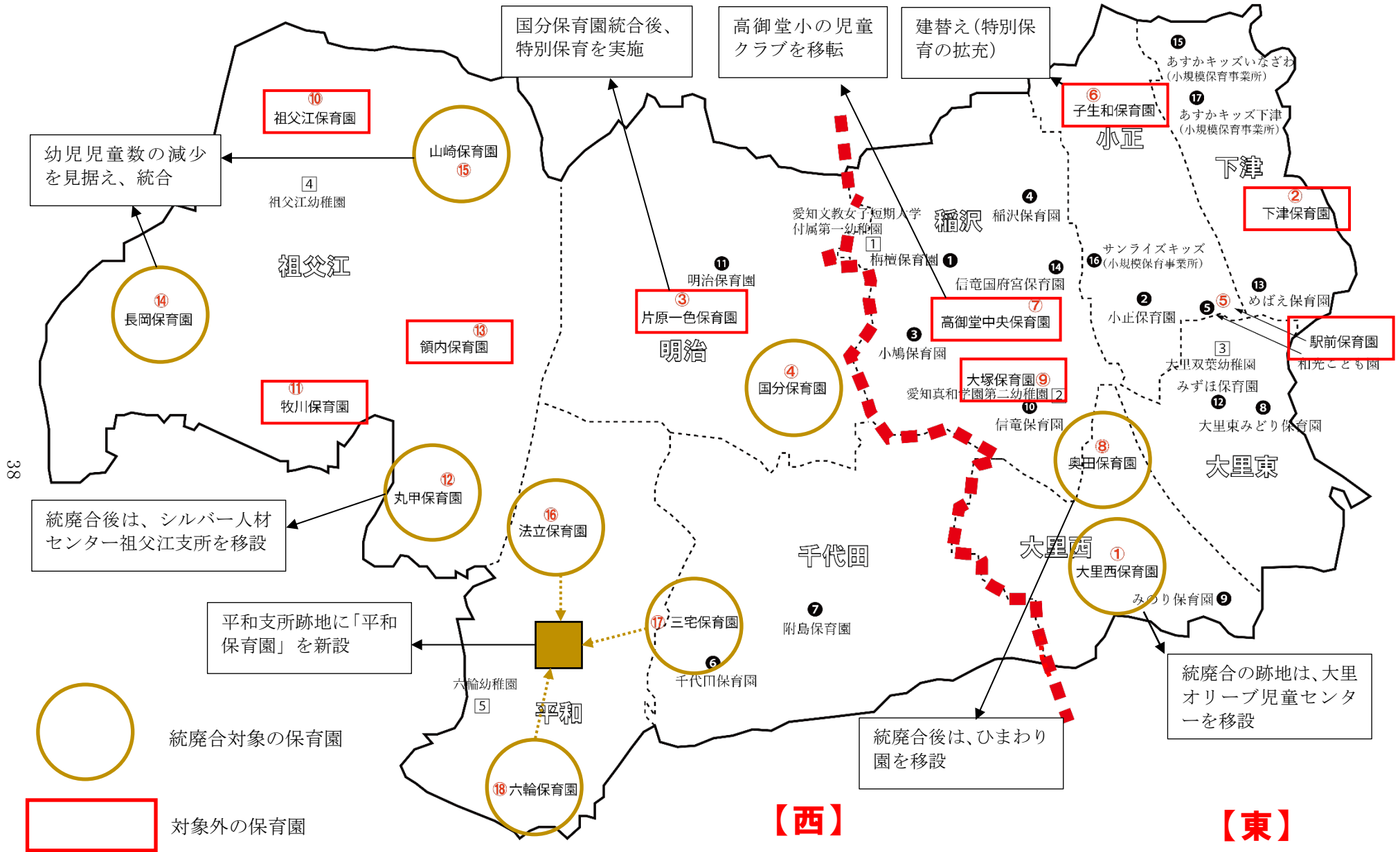
※ 見直し後の公立保育園は 10 園、定員数は 2,605 人から 1,595 人に削減する。

地区名	見直し後の定員数	対象児童数	差引	定員数の内訳
明治	250	415	△165	片原一色保 100 明治保 150
千代田	220	202	18	千代田保 130 附島保 90
大里西	110	301	△191	みのり保 110
大里東	430	268	162	大里東みどり保 140 みずほ保 90 大里双葉幼 200
下津	180	231	△51	下津保 150 めばえ保 30
小正	655	616	39	駅前保 135 子生和保 120 小正保 200 和光保 200
稲沢	1,835	637	1,198	高御堂中央保 195 大塚保 180 栴檀保 240 小鳩保 200 稲沢保 210 信竜保 100 信竜国府宮保 30 第一幼 360 第二幼 320
祖父江	770	636	134	祖父江保 130 牧川保 140 領内保 245 祖父江幼 255
平和	350	339	11	平和保（仮称）200 六輪幼 150
合計	4,800	3,645	1,155	公立保 1,595 私立保 1,920 私立幼 1,285

※「対象児童数」は、平成34年度の乳幼児推計のうち、0歳から2歳児の35%（平成24年度は23.5%）と3歳から5歳児の100%を合算した人数としています。

（資料：「これからの公共施設のあり方に関する報告書」H25.03）

● 「これからの公共施設のあり方に関する報告書」における再編の考え方



■各保育園の考え方< ( )内は現在の状況>

保育園名	考え方
① 大里西保育園	・乳幼児の減少を見据え、保育園を統合する。 ・統合後は大里オリーブ児童センターを移転し施設を活用していく。
② 下津保育園	・現行のまま存置する。
③ 片原一色保育園	・現行のまま存置する。 ・国分保育園との統合に合わせて特別保育を実施する。 <b>(特別保育は実施済み)</b>
④ 国分保育園	・乳幼児数の減少を見据え、保育園を統合する。
⑤ 駅前保育園	・現行のまま存置する。
⑥ 子生和保育園	・施設の老朽化が著しいことから現在地で園舎を建て替えるとともに、特別保育を拡充する。 <b>(園舎は H27 年度に建て替え済み、特別保育も拡充済み)</b>
⑦ 高御堂中央保育園	・耐震改修を行った上で存置し、休日保育の実施を検討する。 ・高御堂小の児童クラブを高御堂カトリア児童センターから高御堂中央保育園に移転する。
⑧ 奥田保育園	・乳幼児数の減少を見据え、保育園を統合する、 ・統合後はひまわり園を移転して施設を活用していく。
⑨ 大塚保育園	・現行のまま存置する。
長野保育園	・乳幼児数の減少を見据え、保育園を統合する。 ・統合後は小正すみれ児童センターから児童センター機能と稲沢東小の児童クラブを移転するとともに、子育て支援センターを新設して施設を活用していく。 <b>(平成 27 年閉園、平成 29 年長野子育て支援センター開設)</b>
⑩ 祖父江保育園	・耐震診断を実施した上で、当分の間、現行のまま存置する。 <b>(耐震化は H28 年度に対応済み)</b>
⑪ 牧川保育園	・現行のまま存置する。
⑫ 丸甲保育園	・乳幼児数の減少を見据え、保育園を統合する。 ・統合後はシルバー人材センター祖父江支所を移転して施設を活用していく。 <b>(シルバー人材センター祖父江支所は、旧祖父江支所跡地へ移転予定)</b>
⑬ 領内保育園	・施設の老朽化が進んでいることから現在地で園舎を建て替える。
⑭ 長岡保育園	・乳幼児数の減少を見据え、保育園を統合する。
⑮ 山崎保育園	・乳幼児数の減少を見据え、保育園を統合する。
⑯ 法立保育園	・平和支所を移転させた跡地を活用して、法立、三宅、六輪保育園を統合し新たな保育園「平和保育園(仮称)」を新設する。 <b>(「(仮称) 平和認定こども園」として R4 年度に民営で開園予定)</b>
⑰ 三宅保育園	
⑱ 六輪保育園	

(資料:「これからの公共施設のあり方に関する報告書」(H25.03)を元に、現状を追記)

## 5. 集団保育に関する視点

保育に関する市の基本的な考え方は、乳児期については、きめ細やかで丁寧な保育をすることが重要ですが、幼児期（3歳以上）については、保育士の直接介入が減って見守りが中心となり、子ども同士で学びあえる環境としての集団が必要と考えます。


集団の概念については、諸説ありますが、本市では文部科学省の調査である「集団の規模と担任の指導に関する意識調査」の結果を参考に、以下のように設定します。（詳細は、P3の「稲沢市の保育に関する基本的考え方」を参照）

＜望ましい集団の規模＞	3歳児	16人以上
	4歳児	21人以上
	5歳児	21人以上

この基準からみた場合、3～5歳児が望ましい集団の規模に満たない保育園は、主として西側に分布しています。

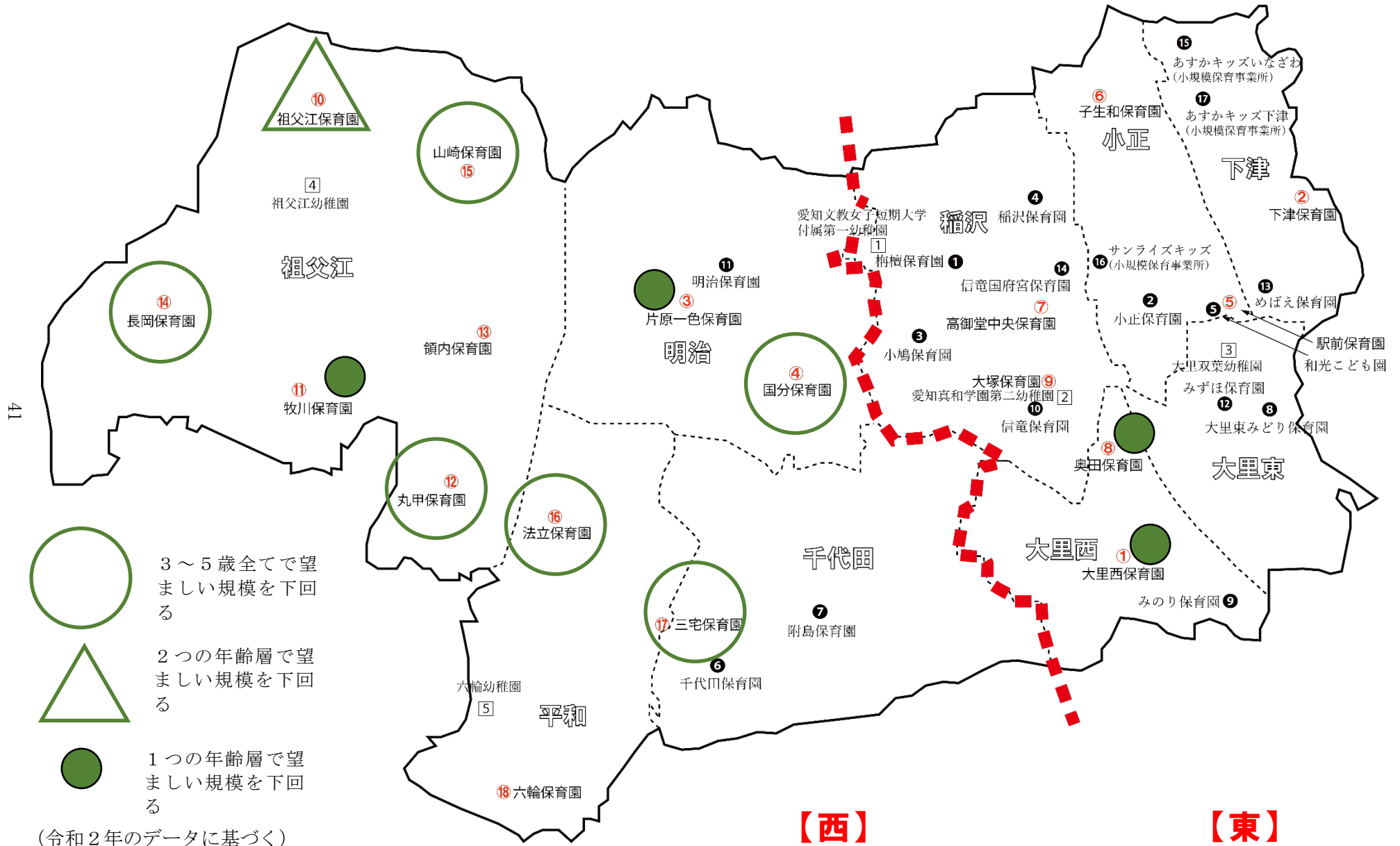
（数値：H31、R2ともに4月1日現在）

### ＜望ましい集団の規模からみた保育園の状況＞

 望ましい規模に満たない施設

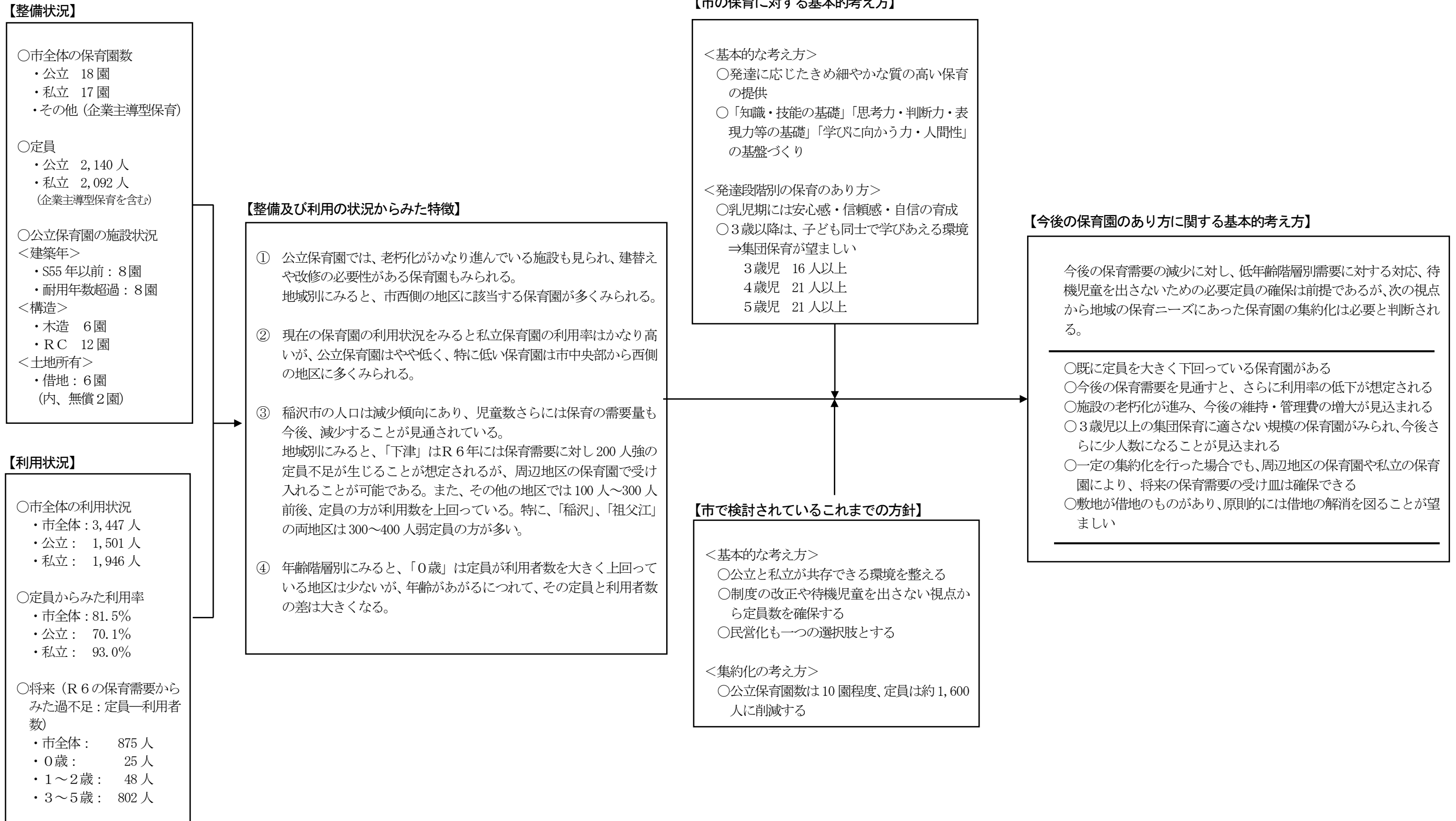
保育園	年	定員	合計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	乳児	入所率
大里西保育園	H31	100	88	23	21	18	15	7	4	88.0
	R2		89	22	18	20	13	12	4	89.0
下津保育園	H31	180	180	43	39	43	29	17	9	100.0
	R2		175	35	46	43	21	25	5	97.2
片原一色保育園	H31	90	87	20	20	20	15	11	1	96.7
	R2		90	20	22	20	17	9	2	100.0
国分保育園	H31	120	47	16	13	18	-	-	-	39.2
	R2		47	18	19	10	-	-	-	39.2
駅前保育園	H31	140	138	26	29	30	29	19	5	98.6
	R2		136	30	27	27	24	24	4	97.1
子生和保育園	H31	160	147	32	32	33	25	20	5	91.9
	R2		146	32	33	32	24	19	6	91.3
高御堂中央保育園	H31	90	89	26	27	25	11	-	-	98.9
	R2		90	26	23	30	11	-	-	100.0
奥田保育園	H31	120	55	15	20	20	-	-	-	45.8
	R2		59	17	21	21	-	-	-	49.2
大塚保育園	H31	140	72	26	24	22	-	-	-	51.4
	R2		72	26	23	23	-	-	-	51.4
祖父江保育園	H31	100	81	18	26	11	10	15	1	81.0
	R2		77	26	13	14	17	7	0	77.0
牧川保育園	H31	140	95	26	17	26	15	10	1	67.9
	R2		98	18	27	24	13	10	6	70.0
丸甲保育園	H31	80	31	9	7	4	10	1	-	38.8
	R2		23	7	2	9	2	3	-	28.8
領内保育園	H31	200	166	43	39	44	22	17	1	83.0
	R2		166	39	44	38	23	17	5	83.0
長岡保育園	H31	70	27	9	6	8	3	1	-	38.6
	R2		17	5	8	2	1	1	-	24.3
山崎保育園	H31	70	43	13	13	6	7	4	-	61.4
	R2		32	12	6	8	6	0	-	45.7
法立保育園	H31	110	42	13	10	8	8	3	0	38.2
	R2		41	11	8	14	4	4	0	37.3
三宅保育園	H31	70	44	9	10	10	7	7	1	62.9
	R2		46	11	10	9	9	6	1	65.7
六輪保育園	H31	160	99	26	21	28	12	11	1	61.9
	R2		97	21	26	21	16	13	0	60.6

●集団保育の望ましい規模からみた保育園の状況



## ここまでの検討の総括

これまでの検討を踏まえ、集約化等を含めた公立保育園のあり方については、以下の様に概括されます。



## **第2章 稲沢市立保育園再編計画(個別施設計画)**

**<計画期間 令和3年度～令和12年度>**





## 1. 集約化についての方針

---

先の検討を踏まえ、本市における今後の公立保育園の集約化に向けた方針は以下のものとします。

- 
- ア 当面は、現状の施設を利用していく。
  - イ 保育園の集約化を図っていく。
  - ウ 保育園を他用途に切り替える。
- 

その対象保育園は次ページの付図に示すものです。

なお、法立・三宅・六輪保育園については、令和4年度に認定こども園として統合していくことになっているため、検討から除外します。



## 2. 集約化に伴う保育園の需給バランスの見通し

令和元年度に策定された「第2期稲沢市子ども・子育て支援事業計画」においては、令和6年度における保育のニーズ量と過不足分は次のようになっており、875人の提供過剰となります。

● 保育のニーズ量と現在の提供可能量からみた過不足状況 (単位：人)

		提供量	ニーズ量	過不足分
2号	(3歳以上)	2,948	2,146	802
3号	(1・2歳)	1,067	1,019	48
	(0歳)	217	192	25
合計		4,232	3,357	875

また、東西の区域別のニーズ量の見込みと過不足状況は、以下のようになっています。

(単位：人)

			東部			西部		
			2号	3号		2号	3号	
			3歳以上 保育が 必要	1・2歳 保育が 必要	0歳 保育が 必要	3歳以上 保育が 必要	1・2歳 保育が 必要	0歳 保育が 必要
ニーズ量の見込み			1,428	710	140	718	309	52
(確 保 提 供 方 策)	特定教育・ 保育施設	幼稚園、保育園、 認定こども園	1,656	687	137	1,290	325	55
	特定地域型 保育事業所	小規模保育事業所	—	35	15	—	0	0
	企業主導型 保育施設	企業主導型保育施設 の地域枠	1	18	9	1	2	1
過不足分(提供量－ニーズ量)			229	30	21	573	18	4

## II 保育園の今後の整備に向けて

### 1. 各保育園の老朽化状況

保育園の今後の整備に向けて、次の2つの視点から検討を行いました。

- ① 中長期的には保育園の集約化を検討していくが、当面の間の整備をいかに図っていくべきか。
- ② 平成29年3月に策定された「稲沢市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、現地調査からの健全度評価を行い、今後の保育園の長寿命化を考える上での参考とする。

①については、各保育園の現地調査（目視による調査）を行い、内部・外部に係る建物自体の他、外構等もチェックするとともに、各保育園に対して事前アンケート調査を実施し、使用している立場からの問題点等についても把握しました。

これらに基づき、現状で捉えられる各保育園の劣化状況を列挙したものが各保育園の個票に示されたもので、詳細調査を踏まえた上で、今後、順次補修・改修を行っていきます。

また、②については、施設の長寿命化の視点から、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（文科省）の評価基準に基づき「判定」を行っており、これは、稲沢市の公共施設全体の今後の長寿命化を検討していく上での参考としているものです。

#### ● 判定基準

##### <内部仕上げ、電気設備、機械設備>

判定	経過年数からの基準	目視等による評価
a	20年未満	概ね良好
b	20年～40年	部分的に劣化（部分的な改修・修繕が想定される不具合の規模）
c	40年以上	広範囲に劣化（予防修繕することが有効なもの）
d	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合	できるだけ早い時期に対応を要するもの

##### <屋上・屋根、外壁>

判定	目視等による評価
a	概ね良好
b	部分的に劣化
c	広範囲に劣化
d	早急に対応（耐久性・施設運営上支障がある）

判定に当たっては、外部は目視により、内部や電気設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に、目視調査及びアンケート調査を加味しました。

屋上・屋根については、屋上に上がれない保育園もあることから、築年数及び工事履歴による経過年数を基本に判断しました。

●保育園別対象頁

保育園の名称		該当頁
1	大里西保育園	50
2	下津保育園	51
3	片原一色保育園	52
4	国分保育園	53
5	駅前保育園	54
6	子生和保育園	55
7	高御堂中央保育園	56
8	奥田保育園	57
9	大塚保育園	58
1 0	祖父江保育園	59
1 1	牧川保育園	60
1 2	丸甲保育園	61
1 3	領内保育園	62
1 4	長岡保育園	63
1 5	山崎保育園	64

# 1 大里西保育園

保育園名： 大里西 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 57	築年数	38年	工事履歴	H19 乳児室、駐車場整備
構造	鉄筋コンクリート造2F				H25 リニューアル、駐車場(西)整備

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラベットのひび割れ・軒裏のひび割れ・その他	防水層の膨れが見られる	c	
② 外 部	仕 上 げ		b	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの歪み
		外部手すり等		保育室出入口の不具合(数か所)
③ 内 部	床	2階床ひび割れと思われる模様 床仕上げの劣化	b	
	壁	開口部の上部にひび割れ(0.5mm以上)		
	天井			
	その他			
	トイ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他		
	手洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他	外部盤関係に錆 館内放送の不具合	c	
機 械 設 備	給排水管		c	
	機械設備			

## 2 下津保育園

保育園名： 下津 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	H17	築年数	15年	工事履歴	H22 駐車場（北）整備
構造	鉄筋コンクリート造2F				H29 部屋増築、設計、改築

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他	1階軒天（カビ） 2F（木製デッキ）の一部損傷	b	
② 外 部	仕 上 げ	外壁（木部）の劣化	b	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの開閉が重い、鍵の不具合、一部網戸なし
		外部手すり等		手摺カバー（塩ビ製）の劣化
		縦樋		
③ 内 部	床	水回り部腐食 デッキ床のササクレ	b	
	壁	手洗い場の周囲（床・壁）の腐食 2か所		
	天井			
	その他			
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他		1・2Fトイレの排水口から悪臭
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		水漏れ
設 電 備 気	分電盤等・その他	館内放送（受信機）の不具合 インターホンの不具合	b	
機 械 設 備	給排水管	給排水設備の不具合	b	
	機械設備	空調機からの結露		

### 3 片原一色保育園

保育園名： 片原一色 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	H 4	築年数	28 年	工事履歴	H26 リニューアル、駐車場
構造	鉄筋コンクリート造2F				

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他	防水層の膨れ、めくれ パラペット部及び軒裏の一部錆びの浮き	b	
② 外 部	仕 上 げ	外壁の劣化 外部ひび割れ・基礎部からの壁のひび割れ	b	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの（開閉）不具合
		外部手すり等		
		縦樋		樋の劣化
③ 内 部	床	調理室床の水勾配の不具合	b	
	壁	建具上部にひび割れ		
	天井			
	その他			
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他		
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他		b	
機 械 設 備	給排水管		b	
	機械設備			



## 4 国分保育園

保育園名： 国分 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 58	築年数	37年	工事履歴	
構造	鉄筋コンクリート造2F				

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他	ルーフドレン回りからの漏水による白華現象 軒裏塗装の劣化	C	
② 外 部	仕 上 げ	外壁にひび割れ（数か所） 錆びの浮き 外壁塗装の劣化	C	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの歪み
		外部手すり等		鉄部の錆び
		縦樋		
③ 内 部	床	床材の劣化	C	
	壁	ひび割れ（数か所） 壁材の劣化		
	天井	天井材の劣化（塗装の剥がれ・歪み）		
	その他	廊下等が暗い 建具の歪み・鍵の壊れ		
	ト イ レ	トイレブースの劣化 床タイルの劣化 パイプからの水漏れ		
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他	コンセントの割れ（周りの壁にひび割れ）	C	
機 械 設 備	給排水管	給水設備の不具合	C	
	機械設備			

## 5 駅前保育園

保育園名： 駅前 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	H元・H13	築年数	31・19年	工事履歴	H元の棟 H28 リニューアル
構造	鉄筋コンクリート造2F				H13年の棟 H23年 空調機改修・床暖房

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他		b	
② 外 部	仕 上 げ		b	
	部 位	サッシ・ドア		サッシ（開閉・鍵）、網戸の不具合（数か所） ※別棟も含む
		外部手すり等		
		縦樋		
③ 内 部	床	調理室床の防水の剥がれ	b	
	壁	壁のひび割れ（ロッカー室、2F廊下）		
	天井			
	その他	別棟（乳児室） 一部床のたわみ、床材の劣化		
	トイレ	床・壁・天井・建具・枠 その他		排水管が詰まりやすい
	手洗い場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他	放送設備の不具合（防災）	b	
機 械 設 備	給排水管	調理室の給水栓の水漏れ 排水設備の不具合	b	
	機械設備			

## 6 子生和保育園

保育園名： 子生和 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	H 27	築年数	5年	工事履歴	
構造	鉄筋コンクリート造2F				

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他		a	
② 外 部	仕 上 げ		a	
	部 位	サッシ・ドア		
		外部手すり等		
		縦樋		
③ 内 部	床		a	
	床・壁			
	天井			
	その他	換気口から水滴		
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他		
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他		a	
機 械 設 備	給排水管		a	
	機械設備			

## 7 高御堂中央保育園

保育園名： 高御堂中央 保育園				調査年・月	令和2年 8月
建築年度	S 49	築年数	46 年	工事履歴	H17 外壁・屋根ほか H24 下水道接続、季節プール撤去、スロープ
構造	鉄筋コンクリート造2F				H20 乳児室、駐車場ほか

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他	外廊下天井に鉄筋の腐食と思われる剥離がみられる	b	
② 外 部	仕 上 げ	外壁のひび割れが多くみられる	c	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの歪みによる不具合（数箇所）
		外部手すり等		鉄部の手摺の腐食
		縦樋		
③ 内 部	床 ・ 壁	床	調理室の床の劣化 調理室（排水溝）グレーチングの腐食	c
		壁	室内側壁にひび割れが数か所みられる 壁仕上の劣化	
	天 井	天井		
		その他		
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他	トイレブースの劣化 排水の不具合	
		手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他	
設 電 備 気	分電盤等・その他	屋外の盤のサビ インターホンの不具合（防犯）	c	
機 械 設 備	給排水管	排水設備の不具合	c	
	機械設備	換気扇の不具合 空調機の不具合		

## 8 奥田保育園

保育園名： 奥田 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 51	築年数	44年	工事履歴	H18 リニューアル H30テラス屋根部分補修
構造	鉄筋コンクリート造2F				

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏のひび割れ・その他	パラペット部一部ひび割れ 軒天上仕上げ膨れ	C	
② 外 部	仕 上 げ	階段室の外壁に鉄筋サビの浮き その他の外壁に錆の浮き	C	
	部 位	サッシ・ドア		全体的にサッシ・ドアが劣化（隙間・鍵の壊れ・その他）
		外部手すり等		鉄部劣化
		縦樋		樋の劣化・一部破損
③ 内 部	床 ・ 壁	床	床の劣化（職員室・遊戯室） 調理室床の劣化（一部水勾配不良）	C
		壁	乳児室壁ひび割れ 東階段（床・壁）ひび割れ	
	天 井	天井	階段室天井（結露又は漏水） 保育室天井にひび割れ	
		その他		
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他	トイレの床・壁の劣化	
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他	盤関係のサビ インターホンの不具合（防犯）	C	
機 械 設 備	給排水管		C	
	機械設備			

## 9 大塚保育園

保育園名： 大塚 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 52	築年数	43 年	工事履歴	H19 リニューアル
構造	鉄筋コンクリート造2F				

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他	ピロティー（パラペット）鉄部に錆	b	
② 外 部	仕 上 げ	外壁・庇部にひび割れ（数か所）	b	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの歪みによる不具合（数か所）
		外部手すり等		
		縦樋		樋の破損（1か所）
③ 内 部	床		b	
	床 ・ 壁	壁にひび割れ（数か所）		
	天 井			
	そ 他			
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他		汚水管が詰まりやすい（排水の流れが悪い）
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他	放送機器の不具合（防災）	c	
機 械 設 備	給排水管	排水設備の不具合	c	
	機械設備			

## 10 祖父江保育園

保育園名： 祖父江 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 45	築年数	50年	工事履歴	H19屋根
構造	木造				H28 耐震補強

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他		b	
② 外 部	仕 上 げ	木部塗装の劣化 窓枠の腐食	c	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの隙間（雨）・開閉及び鍵の不具合
		外部手すり等		外廊下鉄部塗装・一部笠木の劣化
		縦樋		
③ 内 部	床	床下地のたわみ。 床材の劣化（各室共通） 一部反り（不陸）	c	
	壁	塗装のはがれ（結露）、シミ		
	天井	天井材の変色（カビ、シミ） 一部タワミ		
	その他	建具枠（木）の腐食、建具に隙間が見られる 天井点検口取り付けの不具合		
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他		床立ち上がり部（壁）にひび割れ 建具上部壁にひび割れ
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		水はね対策：床・壁の腐食
設 電 備 気	分電盤等・その他	盤の塗装 照明の器具劣化	c	
機 械 設 備	給排水管	給排水設備の不具合及び異臭	c	
	機械設備			

## 11 牧川保育園

保育園名： 牧川 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	H 10	築年数	22 年	工事履歴	H21 外壁
構造	木造				

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他		b	
② 外 部	仕 上 げ	木部の塗装・反り	b	
	部 位	サッシ・ドア		一部不具合
		外部手すり等		手すり（笠木）劣化 ・デッキ床の劣化
		縦樋		塗装の劣化
③ 内 部	床	床仕上げの劣化（各室共通）	b	
	壁	ドア上部のひび割れ		
	天井	（トップライト部）シミ 遊戯室天井（結露又は漏水）		
	その他	木製建具の調整、鍵の不具合		
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他		職員用トイレ：排水口異臭
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他	照明の不具合（器具又は配線）	b	
機 械 設 備	給排水管	排水設備の不具合	b	
	機械設備			



## 12 丸甲保育園

保育園名： 丸甲 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 44	築年数	51年	工事履歴	H21 屋根
構造	木造				H28 耐震補強

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他		b
② 外 部 部 位	仕 上 げ	木部塗装の劣化	b
	サッシ・ドア	サッシの隙間（雨）・開閉及び鍵の不具合。 網戸なし。	
	外部手すり等	鉄部塗装	
	縦樋		
③ 内 部	床	床材の劣化は各室に共通 床下地のたわみ	c
	壁	結露又は漏水による変色（カビ）	
	天井	結露又は漏水による変色（カビ）	
	その他	建具枠（木）の腐食、建具に隙間が見られる	
	トイレ	床の清掃（湿式）により木部の劣化が著しい。 タイルの劣化。 建具枠との隙間や木枠の腐りがある。 汚水口から異臭。	
	手洗い場	仕上げ・給排水関係 その他	
設 電 備 気	分電盤等・その他	コンセントの不具合（1か所） スイッチの劣化	c
機 械 設 備	給排水管	排水設備の不具合	c
	機械設備		

### 13 領内保育園

保育園名： 領内 保育園				調査年・月	令和2年8月	
建築年度	S 47	築年数	48年	工事履歴	H19 屋根	H28 耐震補強
構造	木造				H20 下水道接続ほか	

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他		a	
② 外 部	仕 上 げ	木部塗装の劣化	C	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの隙間（雨）・開閉及び鍵の不具合。 網戸なし
		外部手すり等		外廊下等の鉄部錆び、塗装の剥がれ
		縦樋		
③ 内 部	床	床材の劣化は各室に共通	C	
	壁	塗装のはがれ（一部合板下地の膨れ） ひび割れ(数か所)		
	天井	天井材の変色（カビ・シミ）		
	その他	木製建具の劣化		
	トイレ	床・壁・天井・建具・枠 その他		タイルの劣化。 開口部の上部にひび割れ。 枠との隙間や木枠の劣化。 汚水口から異臭。 便座（故障1か所）。
	手洗い場	仕上げ・給排水関係 その他		水栓の不具合
設 電 備 気	分電盤等・その他		C	
機 械 設 備	給排水管	給排水設備の不具合	C	
	機械設備			

## 14 長岡保育園

保育園名： 長岡 保育園			調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 48	築年数	47年	工事履歴 H21 屋根 H28 耐震補強
構造	木造			

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他	下屋庇の劣化	b
② 外 部 部 位	仕 上 げ	木部及び窓枠回りの塗装の劣化 遊戯室：外壁の柱と基礎のずれ	c
	サッシ・ドア	サッシの不具合（多数）。 鍵の不具合。	
	外部手すり等	鉄部塗装	
	縦樋	割れあり	
③ 内 部	床	床材の劣化（各室共通） 床の不陸・一部はがれ	c
	壁	全体的に下地及び塗装の劣化 コンセント周りの合板の劣化	
	天井		
	その他	木製建具の劣化、一部歪み	
	ト イ レ	床・壁・天井・建具・枠 その他	
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他	
設 電 備 気	分電盤等・その他		c
機 械 設 備	給排水管		c
	機械設備	放送設備不具合（防災）	

## 15 山崎保育園

保育園名： 山崎 保育園				調査年・月	令和2年8月
建築年度	S 45	築年数	50年	工事履歴	H19 屋根
構造	木造				H28 耐震補強

部位	仕様及び部位	劣化状況	判定	
① 屋 屋 上 根 ・	パラペットのひび割れ・軒裏の ひび割れ・その他	軒裏：漏水跡	a	
② 外 部	仕 上 げ	外壁の一部破損 木部の塗装の劣化	b	
	部 位	サッシ・ドア		サッシの不具合
		外部手すり等		鉄部塗装の劣化
		縦樋		縦樋の接続不良（道路側）
③ 内 部	床	床組の劣化（床鳴り） 床仕上げ材の劣化（各室共通）	c	
	壁	塗装のはがれ、反り 配膳室壁にクラック		
	天井	結露による変色（カビ） シミ（雨漏跡）		
	その他	木製建具の劣化。 鍵の不具合。 床暖房の劣化		
	ト イ レ	壁（巾木高さ）にひび割れ 排水が悪い（2か所共） 汚水口から異臭		
	手 洗 い 場	仕上げ・給排水関係 その他		
設 電 備 気	分電盤等・その他	コンセントがひび割れ（1か所） 放送設備の不具合（防災）	c	
機 械 設 備	給排水管	排水設備の不具合	c	
	機械設備			

## 2. 各保育園の今後の整備の考え方

### 1) 劣化状況の総括

先に示した、各保育園の劣化状況の総括は以下に示すものです。

#### ● 劣化状況・健全度評価の総括

		建築年度		建築評価		劣化状況					健全度
		和暦	西暦	築年数	耐震性能	屋上	屋根	外壁	内部仕上げ	電気設備	
1	大里西保育園	S57	1982	38	新	c	b	b	c	c	63
2	下津保育園	H17	2005	15	新	b	b	b	b	b	75
3	片原一色保育園	H4	1992	28	新	b	b	b	b	b	75
4	国分保育園	S58	1983	37	新	c	c	c	c	c	40
5	駅前保育園	H元	1989	31	新	b	b	b	b	b	75
		H13	2001	19	新						
6	子生和保育園	H27	2015	5	新	a	a	a	a	a	100
7	高御堂中央保育園	S49	1974	46	旧	b	c	c	c	c	43
8	奥田保育園	S51	1976	44	旧	c	c	c	c	c	40
9	大塚保育園	S52	1977	43	旧	b	b	b	c	c	66
10	祖父江保育園	S45	1970	50	旧	b	c	c	c	c	43
11	牧川保育園	H10	1998	22	新	b	b	b	b	b	75
12	丸甲保育園	S44	1969	51	旧	b	b	c	c	c	53
13	領内保育園	S47	1972	48	旧	a	c	c	c	c	45
14	長岡保育園	S48	1973	47	旧	b	c	c	c	c	43
15	山崎保育園	S45	1970	50	旧	a	b	c	c	c	55

(注：昭和56年6月1日に耐震基準が変更され、「旧」はそれ以前、「新」はそれ以降のもの)

「健全度」については、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(文科省)の算定基準により算出したもので、以下のとおりとなっています。なお、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示すこととなります。

<部位の評価点>		<部位のコスト配分>	
	評価点	部位	コスト配分
a	100	1 屋根・屋上	5.1
b	75	2 外壁	17.2
c	40	3 内部仕上げ	22.4
d	10	4 電気設備	8
		5 機械設備	7.3
		合計	60

$$\text{健全度} = \text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

## 2) 各保育園の今後の整備の考え方

保育園の集約化については先に示していますが、集約化の時期は現時点では明確になっていません。よって、当面現施設を利用するとした場合の今後の基本的な考え方を示すものとします。

(注) 表中の▽は、今後 10 年間に改修工事等が必要と思われるもの。

保育園名称		基本的な考え方
1	大里西保育園	○利用者も増えており、劣化状況も緊急を要するものではないので、当面は現行体制の継続。 ○築年数が 40 年近く経っており、サッシや設備関係等の一定の補修は必要。
2	下津保育園	○現行体制の継続。 ○築年数が 15 年経っており、外壁（木質系）等、外部の補修の必要性が高い。又手洗い等の水回りの床、壁の補修が必要。
3	片原一色保育園	○国分保育園との集約化を想定。 ○築年数は 30 年近く経っているが、建物の大きな問題は少ない。水回りの床、壁の補修は下津保育園と同様。
4	国分保育園	○片原一色保育園との集約化を想定。
5	駅前保育園	○現行体制の継続。 ○平成 28 年にリニューアルを行っており、概ね良好な状態にある。リニューアル工事以外の箇所の補修が必要。
6	子生和保育園	○現行体制の継続。 ○平成 27 年に整備されたもので、15 園の中では最も新しく、大きな問題はない。
7	高御堂中央保育園	○現行体制の継続。 ○築年数は 50 年近く経っているが、外壁や屋根の補修を既に行っており、乳児室は平成 20 年に改修済み。 ▽耐震工事や LED への付け替え等の改修を行う計画あり。
8	奥田保育園	○保育園は廃止し、令和 6 年度に児童発達支援センターに切り替え予定。 ○現状の建物での児童発達支援センターへの切り替えには、リニューアル等が必要。
9	大塚保育園	○現行体制の継続。 ○築年数は 40 年を超えており、一定の改修の必要性が高い。 ▽土留め、修繕、LED への付け替え等を行う計画あり。

保育園名称		基本的な考え方
10	祖父江保育園	○山崎保育園との集約化を想定。 ○築年数が50年経っており、外構の問題は少ないが建物については建替えないしは大幅な補修が必要。
11	牧川保育園	○長岡保育園との集約化を想定。 ○施設のキャパシティの面からは40名程度の受入れ余力はある。 ○築年数は木造で20年を超えており、早い時期での一定の補修が必要。 ▽外壁、ウッドデッキ改修、LEDへの付け替え等を行う計画あり。
12	丸甲保育園	○領内保育園との集約化を想定。 ○築年数は50年を超えており、一定の補修は必要。
13	領内保育園	○丸甲保育園との集約化を想定。 ○築年数は50年近く経っているが、平成28年に耐震補強の工事を行っており、当面建替えることは難しい。内装及び設備関係の補修が必要。
14	長岡保育園	○牧川保育園との集約化を想定。 ○築年数は50年近く経っており、一定の補修が必要。
15	山崎保育園	○祖父江保育園との集約化を想定。 ○築年数は50年経っており、一定の補修が必要。

なお、大半の保育園で一定程度の劣化がみられ、今後当面利用していく場合は、共通的な以下のものに取り組む必要があります。

- サッシの不具合が多くみられ、ドア・窓の開閉や施錠ができない箇所もあり、補修又は更新が必要。
- 付属建物の劣化がみられるため、詳細な劣化調査が必要。

**【木造の保育園の共通事項】**

- トイレの排水口からの悪臭が多くみられる。また湿式による清掃から建具回りが腐朽しており、対策が必要。
- 樋の雨水枡への接続のない箇所がみられ、基礎と土台に影響があり、対策が必要。
- 結露による仕上げ材（壁、天井）の膨れ等がみられ、断熱等の対策が必要。
- コンセントの不具合や外灯の劣化等による電気配線の漏電等の調査が必要。

### 3. 整備に向けてのロードマップ

今後の整備に向けての大きなスケジュールとしては、以下のような取組とします。

区分	建築年度	構造	建築評価		第1期										第2期	第3期	第4期	
			築年数	耐震性能	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~22	R23~32	R33~42	
1 大里西	S57	RC	38	新														
2 下津	H17	RC	15	新														
3 片原一色	H4	RC	28	新														
4 国分	S58	RC	37	新														
5 駅前	H1 H13	RC S	31 19	新 新														
6 子生和	H27	RC	5	新														
7 高御堂中央	S49	RC	46	旧														
8 奥田	S51	RC	44	旧														
9 大塚	S52	RC	43	旧														
10 祖父江	S45	W	50	旧														
11 牧川	H10	W	22	新														
12 丸甲	S44	W	51	旧														
13 傾内	S47	W	48	旧														
14 長岡	S48	W	47	旧														
15 山崎	S45	W	50	旧														

(注)RC:鉄筋コンクリート造、S:鉄骨造、W:木造



## 4. 民営化に向けての考え方

### 1) 公立保育園の民営化の目的

公立保育園の民営化の目的は大きくは次の4点となります。

- ア 民間の保育者による独自の方針や理念に基づく保育の提供が、市民にとって、保育の機会と選択肢の充実に資することができるため。
- イ 民営化に伴い生じる財源と職員を特別保育の充実、地域子育て支援及び保育所機能強化等に充てていくため。
- ウ 公立保育園では行われていない送迎の実施など、多様な保育ニーズへの対応や事業拡大が期待できるため。
- エ 多様な民間事業者が選定され、参入が促進されることにより、市全体として保育水準が引き上げられるため。

### 2) 公立保育園の民営化方式のパターン

公立保育園の民営化については、大きく分けると以下のパターンに分類されます。

#### ● 公立保育園の民営化へのパターン

	委託		移管
	業務委託	指定管理者	
民営化後の保育園	公立（市立）	公立（市立）	私立
運営主体	市	指定管理者	事業者
職員	入れ替わり	入れ替わり	入れ替わり
	（一部又は全部）	（全部）	（全部）
施設管理者	市	事業者	事業者
土地・建物・備品	市のもの	基本的に市のもの （注1）	事業者に貸与又は譲渡
保育内容	公立保育園と同様	拡充の余地あり	拡充の余地あり

（注1：備品については、市との協議により事業者が独自に設置・使用することも可能）

委託とは公設民営方式で、移管とは設置主体及び運営主体ともに移行する「民設民営方式」となります。

本市においては、民間事業者による柔軟な運営、自主性、経営の継続性、安定性、本市の財政面や人的効果などを考慮し、「民設民営方式」を今後の民営化に対する基本的な考え方とします。

### 3) 民営化による市財政の軽減効果

公立保育園と私立保育園の運営費の内訳は、公立保育園の場合は、概念的には「保護者負担分（保育料）と市の負担分」となり、私立保育園の場合は「保護者と市の負担分」に加え、「国・県の負担分」が加わり、その分の市の負担軽減が見込まれます。

#### ●設置主体・年齢別の保育に必要な経費イメージ

児童 1 人の保育に必要な経費			
(公立保育園・0～2 歳児の場合)			
保育料 (保護者負担分)	市負担分 (保育料を除く部分の 10/10)		
(私立保育園・0～2 歳児の場合)			
保育料 (保護者負担分)	国負担分 (保育料を除く部分の 1/2)	県負担分 (同 1/4)	市負担分 (同 1/4)
(公立保育園・3～5 歳児の場合)			
給食費	市負担分 (給食費を除く部分の 10/10)		
(私立保育園・3～5 歳児の場合)			
給食費	国負担分 (給食費を除く部分の 1/2)	県負担分 (同 1/4)	市負担分 (同 1/4)

(注) 3～5 歳児は保育の無償化により保育料負担はなく、給食費を負担

### 4) 民営化対象保育園の選定

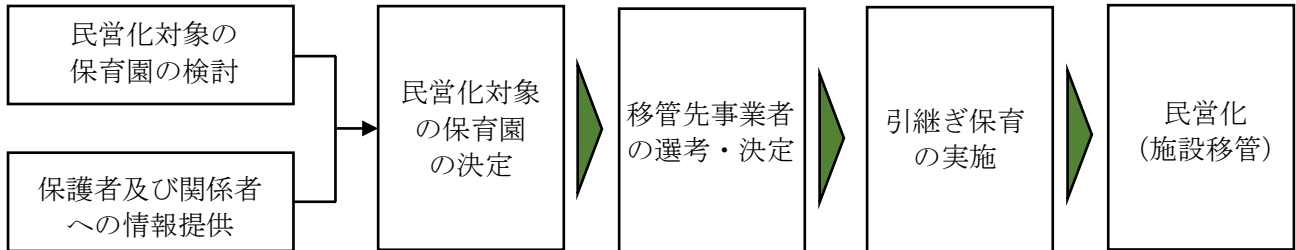
民営化対象の保育園を選定するにあたっては、以下のような視点に立ち、事業の継続性及び効果、保護者の利便性などを総合的に勘案し選定することとします。

- ア 施設の老朽化状況
- イ 地域における保育の需要と供給の関係
- ウ 一定規模の定員を備えること
- エ 特別保育の維持・拡充が図れること
- オ 公立保育園と私立保育園との地域バランス

## 5) 民営化へ向けた手順

民営化については、地域・保護者のコンセンサスの形成を十分に図り、円滑な保育体制の移行を図っていきます。

民営化までの基本的な流れは、次のものとなります。



### ※ 1 移管先事業者の選考・決定

移管先の事業者の選定については、民営化前の保育サービスが低下しないこと等を条件として、透明性、公平性を保つため公募を原則とします。また、選考に当たっては、民営化の対象となる保育園ごとに有識者や保育現場に詳しい者が入った公平・中立的な選考委員会を設置し、公益性、継続性、保育方針、保育内容、経営状況等を総合的に審査し、決定します。

### ※ 2 引継ぎ保育の実施

民営化前の1年間は、引継ぎ保育の期間として、当該保育園の保育士と移管先の事業者の保育士との引継ぎ保育を行います。引継ぎ保育により、子どもの様子などを把握し、保育士の一斉交代に伴い園児や保護者が著しい不安を感じることがないように努めるとともに、民営化後の保育サービスの質の維持を図ります。

### ※ 3 民営化（施設移管）

有償又は無償での土地及び建物の貸与等により施設を民間事業者へ移管します。保育園の運営については、移管先事業者が必要な環境整備を進めるとともに、独自の保育理念、保育方針に基づき、特色ある保育を行っていきます。

### ※ 4 移管後の市の関与のあり方

市は、私立保育園に対する指導監督権等の権限を有するため、移管後も必要な助言、指導を行います。